

SUZUKA SUPER BIKE 200km



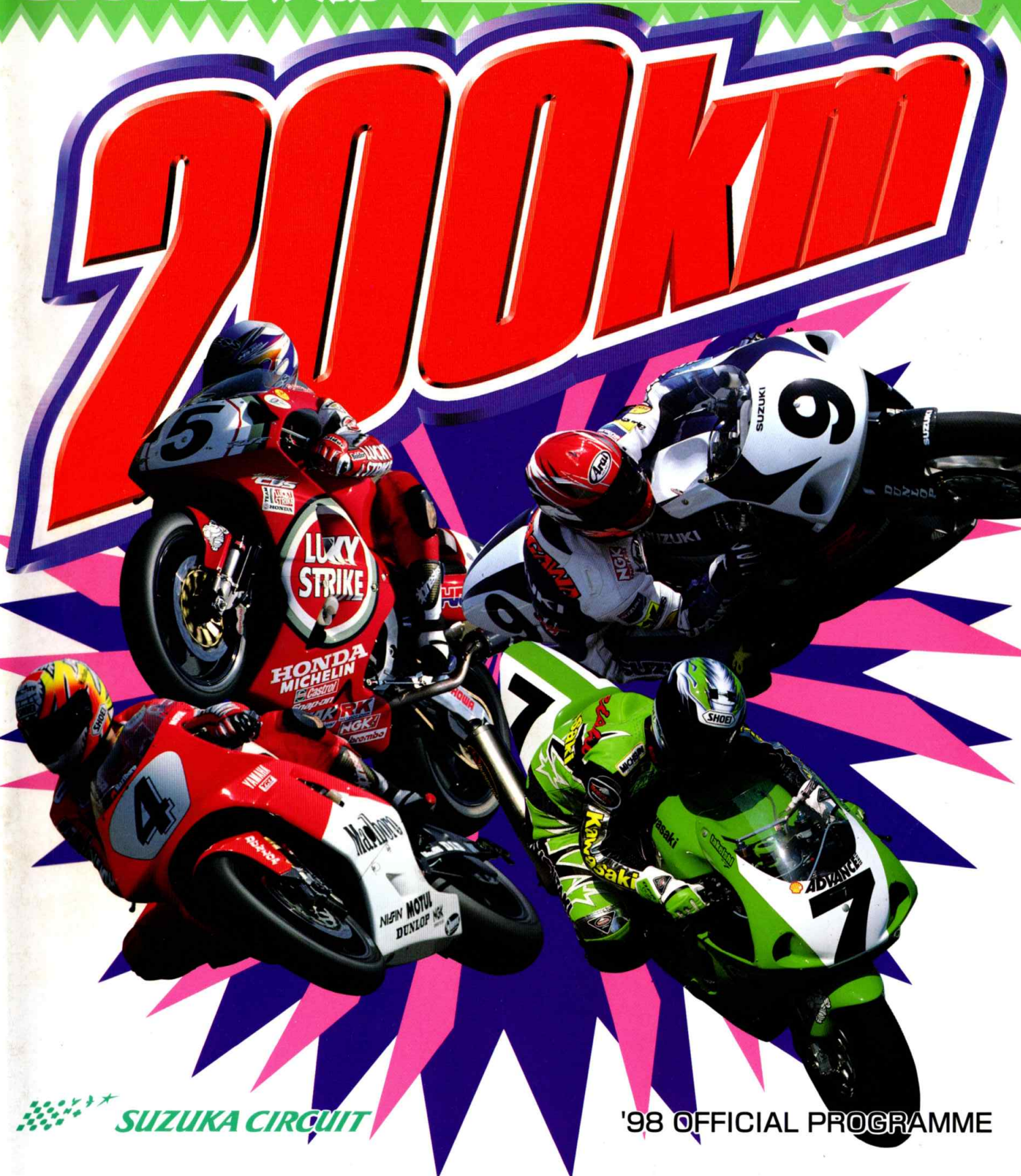
'98MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 鈴鹿スーパーバイク200km

5/30(土) 予選
5/31(日) 決勝

RACE START

GP125	10:40
GP250	13:00
SUPER BIKE / SUPER-NK	14:15
NK4	16:15

SUPERBIKE
JAPAN



SUZUKA CIRCUIT

'98 OFFICIAL PROGRAMME

全戦全勝。



'97WGP125cc&250ccクラスにおいて
ダンロップは全戦全勝という輝かしい記録を達成した。
すなわち、V・ロッシ、M・ピアッジという二人のシリーズチャンプを中心とした
ダンロップタイヤユーザーが、WGPシリーズ全15戦にわたって
2クラスで表彰台の頂上を完全に独占したのである。
この圧倒的な強さを発揮するダンロップテクノロジーを受け継いだ
ハイパフォーマンス・ラジアル、ライディーンGPR-70。
その、WGP直系のチャンプ・スペックが生み出す戦闘力は、
ライバルを突き放し、さらなる勝利へと向かう。

CHAMP SPEC
Rideen

GPR-70



RAPIDE-L

HYPER RIB

【ハイパーリブ】
 サイドアウトから後方へと流れるハイパーリブ構造は、ヘルメット後部下方の剛性を強化。大きな衝撃を受ける可能性が高いという現実のデータをもとに、現役のライダーでもあるアライが選択した新構造である。



戦士の称号—レジオン
 [Legion]

MOUTH SLIT

【マウスリット】
 新型帽体の特徴である力強く迫力を感じさせるマウスリットの入ったチンバー部分。このフォルムは、アライの開発テーマである「安全性へのあくなき追求」より導かれた新形状として、定評あるアライヘルメットの剛性をさらに高めている。



ハイフィッティング内装

誕生

RAPIDE

●機種名:ラバイド-L ●帽体:cLe(コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格:スネル1995 JIS C種 ●内装:ハイフィッティング内装(頬パッド調節可能-特許出願中) ●シールド:スーパーアドンス標準装備(特許出願中) ●色:白、黒、ブライトシルバー、チタングレー、キャンディレッド ●サイズ:(53-54) (55-56) (57-58) (59-60) (61-62)

¥36,000



※価格に消費税は含まれていません
 印刷のため、実物とは若干異なって見える場合があります
 店頭にてご確認ください
 ●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください
 直通TEL (048) 645-3661
 株式会社 アライヘルメット 〒330-0841 埼玉県大宮市東町2-12
 TEL(048)641-3825~7



【ICダクト】
 エアライン用の直径10mmのドレンホールを持つIC(インダクションコントロール)ダクトは、DDLダクト同様に、グローブをつけたままでも開閉が簡単にできる。より強力なクールダウンのための複合ベンチレーションシステムである。

IC DUCT

DDL DUCT

【DDLダクト】
 DDL(ダブルデルタ)ダクトは、F1用ヘルメットに装着されているスポイラーと同様の整流効果を発揮する。エアアウトのデルタダクトを左右一体化したフォルムは、走行中の空気抵抗やリフト感による疲労を軽減させてくれる。

アライヘルメットは
変わります。



日本特殊陶業

Plug is NGK.

いままでも、これからも。



世界140カ国で愛用され、世界が認めたトップブランドNGKスパークプラグ。VXプラグは、極めて細いプラチナの中心電極と、鋭く尖った外側電極により、着火性能を飛躍的に向上させました。加速性、省燃費はもちろん排気ガスのクリーン化にも貢献しています。

NGK VX プラグ

F1をはじめ各種四輪・二輪レースのサポートをしています。URL <http://www.ngkntk.co.jp>



勝敗はヘルメットの差だった。

スポーツヘルメットの新潮流<SHOEI>X-8R、誕生。

吸排気バランスを追求したベンチレーション<S.A.A.D.>

空気を効果的に取り入れ、効率的に排出するSHOEI・アクティヴ・エア・デバイス<S.A.A.D.>。人間主体の設計思想に基づいたこの機構は被る人の快適性を追求すると同時に、ライディングの妨げにならないよう各パーツのレイアウトを配慮している。



2WAYアッパーベンチレーション

エアインテークとしての機能にサイトレーションシステムからの流風を走行風の負圧により強制排出するエアアウトレット機能をプラス、3ポジションの間閉システムを採用。

プレスチャンバーシステム

チンガードの内部の衝撃吸収ライナーに気室を設け、さらに口元の空間の容量をアップ。帽体下部部に発生する負圧を効果的に利用しつつ、呼吸による湿気を強制的に排出する。

リアーエアアウトレット

帽体下部部のリップに設けられたこの新システムは、内装部のハイパーD.L.V.システムのエアールとダイレクトに接続され、帽体内に蓄積される熱気を強制的に排出する。

ハイパーD.L.V.システム

帽体前部から導入された風が2層のライナー間を通り抜けるから内部の熱気を効果的に排出。吸排気バランスを追求した<S.A.A.D.>の中核ともいえるシステムである。



ソフトなフィット感ながらも、確実なホールド性を誇る新デザインQ.R.I.P.システム。

全面新設計となった3Dフルサポートインナーが顔部全周を包み込み、心地よいフィット感とシリアホールド性を高い次元でバランス。またアイボート内側の衝撃吸収材にもブラック着色仕上げを施すなど、内装の細部にわたって質感の高さにもこだわった。また新形状のメガネリットを採用して、実用面でも大規模な改良を加えている。

軽量化により被り心地向上や疲労感の軽減を図るライトウエイト・フィロソフィ。

X-8Rの帽体は構造や素材レベルから形状デザインに至るまで軽量化を徹底的に追求。各部の構成パーツもグラム単位の重量削減を図り、従来比(X-8V)で約50gの軽量化を達成した。もちろんスネルM95規格やJIS規格C種をクリア、充実装備や高い保護性能による重量増加の問題をみごとに軽量化という答えで解決した。



ホワイト ブラック ライトシルバー デークシルバー キャンディアップルレッド マゼンダブルー

X-8R
SPORT GROOVE

38,000円

●帽体:新素材(超高強度・高弾性繊維)とファイバーグラスH.L.構造 ●規格:スネルM95、JIS規格 C種、MFJ公認 ●サイズ:S(55-56cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●CX-1シールド(標準装備:ソフトスモーク(標準装備)、クリア、スモーク、ダークスモーク 各3,800円) ●CX-1スモークミラーシールド:シルバー、オレンジ、ブルー 各7800円 ●CF-1シールド(2次曲面、テフロフィルム対応)ソフトスモーク、ライトスモーク 各4,500円 ●テフロフィルム(CF-1対応):5枚セット1,000円 ●ORベースセット:800円 ●スクリーンセット:200円 ●プリセットレバー:200円 ●センターバンド(X-8R用):2,800円 ●チンガード(X-8R用):14,800円 ●チンストラップカバー(X-8R用):2800円 ●スルスガード(X-8R用):1,500円 ●内装セット(X-8R用/3点:センターバンド、チンガード、チンストラップカバー):3,000円 ※プリセットは標準装備になっています。※内装はサイズをご確認の上ご購入ください。●価格はメーカー希望小売価格で税別です。
●ヘルメットのごひもはしっかり締めましょう。安全確保のため改造しないでください。●新品は改良のため予告なく仕様変更することがあります。●部品、修理、その他ご要望ご購入等は最寄りの支店サービス課までお問い合わせください。
SHOEI 本社・東京支店/〒110-0005 東京都台東区上野5-8-5 CP10ビル7F ☎03/5688-5185 大阪支店 ☎06/885-2123 ■X-8R専用のカタログをご用意しています。封裏に80円切手を同封し、上記の東京支店に「X-8Rカタログ希望」と明記してお送りください。

タイムテーブル TIMETABLE

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
5/29 (金) ●特別スポーツ走行 Free Practice (Untimed)		GP125 (A) 30 GP125 (B) 40	GP250 (A) 25 GP250 (B) 55	GP250 (A) 5 GP250 (B) 35 SB/S-NK (A) 50 SB/S-NK (B) 20	SB/S-NK (A) 30 SB/S-NK (B) 20		GP125 (A) 30 GP125 (B) 40	GP250 (A) 25 GP250 (B) 55	GP250 (B) 5 GP250 (A) 35 SB/S-NK (A) 50 SB/S-NK (B) 20	SB/S-NK (A) 30 SB/S-NK (B) 20	NK4 (A) 15 NK4 (B) 15 (NK4西スタート)
5/30 (土) 公式予選 ●ゲートオープン Gate Open ●公式予選 Qualifying Practice	7:50	GP125 (A) 25 GP125 (B) 35	GP250 (A) 15 GP250 (B) 40	GP250 (A) 5 GP250 (B) 30 SB/S-NK (A) 55 SB/S-NK (B) 20	PIT WALK 40		GP125 (A) 25 GP125 (B) 35	GP250 (A) 15 GP250 (B) 40	GP250 (B) 5 GP250 (A) 30 SB/S-NK (A) 55 SB/S-NK (B) 20	SB/S-NK (A) 30 SB/S-NK (B) 20	NK4 (A) 10 NK4 (B) 20 (NK4西スタート)
5/31 (日) 決勝レース ●ゲートオープン Gate Open ●ウォームアップ走行 Warm Up ●スタート進行 Starting Procedure ●決勝レース FINAL ●表彰式 Provisional Award Presentation	8:00		GP125 15 GP250 45 SB/S-NK 15		GP125 (15周) 40 PIT WALK 30		GP250 (17周) 15	GP250 (35周) 15 SUPER BIKE 200km (35周)		NK4 (西スタート/10周) 15	

公示 ANNOUNCEMENT

本競技会は財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ) 公認のもとに国際スポーツ憲章・競技規則に基づいた MFJ 国内競技規則ならびに本競技会大会特別規則に基づいて開催される。

This event, authorized by M.F.J., Motorcycle Federation of Japan, will be held in accordance with M.F.J. national race regulations based on the International Sporting Code.

開催競技会 EVENT

名称 '98MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第4戦
鈴鹿スーパーバイク200km
●同日開催 '98鈴鹿選手権シリーズ
鈴鹿サンデーロードレース 第5戦
NK4 SUZUKA
日程 1998年5月30日(土)・5月31日(日)
主催 株式会社 鈴鹿サーキットランド
会場 鈴鹿サーキット フルコース(5.86403km)
Event: '98 MFJ All Japan Road Race Championship Series Round 4
SUZUKA SUPER BIKE 200km
● Supporting Race: '98 SUZUKA Championship Series,
SUZUKA SUNDAY ROAD RACE, Round 5
NK4 SUZUKA
Date: May 30, 31 1998
Organizer: Suzuka Circuitland Co., Ltd.
Place: Suzuka Circuit International Racing Course 5.86403km

オフィシャルプログラム協賛各社 OFFICIAL PROGRAMME SPONSORS

株式会社 アライヘルメット
株式会社 三栄書房
株式会社 山海堂
株式会社 三推社
株式会社 SHOEI
株式会社 日本ダンロップ
日本特殊陶業 株式会社
株式会社 ニューズ出版
株式会社 ブリヂストン
モーターマガジン社
ラッキーストライク
(五十音順)

レギュレーション抜粋 SUPPLEMENTARY REGULATIONS

第14条 公式予選

～1) 公式予選の義務周回数は定めない。
ただし、少なくとも1周はラップタイムが計測されなければならない。

第16条 スタート

～1) スターティンググリッド
最前列は4台とし、以下各列同数で配列される。
ポールポジションは左側とする。
※全コースレースにおいては、階段状グリッドを使用するものとする。

第17条 レース終了

～1) トップが各クラス定められた周回を終了した時点でトップにチェッカーが振られる。
～2) 各レースの終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、5分を経過した時である。

レース中における燃料補給

～1) 200kmのスーパーバイククラスは、決勝レース中の燃料補給を行うことができる。
～3) 燃料タンクは24ℓ以下とする。
～4) レース中の車両への燃料補給は一般市販の金属製携行缶が落差式タンクからの補給方法で行うこと。ただし、ビットロードよりタンク上面までの高さは2.5mまでとし、それ以上に上げてはならない。
～7) 燃料補給中はエンジンを停止しなければならない。
～9) 燃料補給は、スタンドに車両を完全に乗せた状況の下で行わなければならない。燃料補給中は、他のいかなる作業(補給に関係しない部分で車両に触れる等)も禁止される。

賞典

順位	スーパーバイク	GP250	GP125
1位	200万円	70万円	60万円
2位	80万円	40万円	40万円
3位	60万円	35万円	30万円
4位	45万円	30万円	25万円
5位	35万円	25万円	20万円
6位	30万円	20万円	18万円
7位	25万円	18万円	15万円
8位	20万円	15万円	12万円
9位	18万円	10万円	9万円
10位	15万円	8万円	8万円
11位	13万円		
12位	12万円		
13位	11万円	11～15位 7万円	11～15位 7万円
14位	10万円	16～20位 5万円	16～20位 5万円
15位	9万円		
以下決勝出走者全員	5万円	3万円	3万円

スーパーネイキッドクラスについて

1) スーパーネイキッドクラスの参加
1) '98全日本選手権クラス選手権スーパーバイククラスは、スーパーバイクに加えてスーパーネイキッドクラスが正式に参加できる。
2) 両者はひとつのクラスとして扱い、予選・決勝を通じてクラス別の扱いはしない。

3) 予選通過基準は、クラスに関わりなくトップの110%以内とする。

4) 賞金・ランキングポイントも順位によって与える。
5) スーパーネイキッドクラスには、国内4メーカーのファクトリーチームは参加できない。

2. スーパーネイキッドクラス車両規則

2. 参加車両

1) X-Formulaクラスに参加する車両は、自然吸気4ストロークで改造前排気量800cc以上的一般生産型エンジンをベースとした一般生産型モーターサイクルでMFJの承認を得なければならない。
2) NK1クラスの車両は、自然吸気4ストロークで排気量750ccを超えるスチールパイプフレームの一般生産型モーターサイクルでMFJの承認を受けなければならない。

3. X-Formulaの改造規則

5. 買取規定

1) 大会にて6位以内に入賞した車両は購入希望者がいた場合下記価格にて販売しなければならない。売買によって発生する税金はこの金額に含まれない。
350万円

4. NK1の改造限度

5. 買取規定

1) 大会にて6位以内に入賞した車両は購入希望者がいた場合下記価格にて販売しなければならない。売買によって発生する税金はこの金額に含まれない。
200万円

第3章 鈴鹿NK4シリーズ

第39条 車両規定

～4) ウェイトハンディ制

下記の通り入賞者のウェイトハンディを実施する。

上位入賞した場合の次の大会で義務付けられるハンディウェイト	優待	7kg	ウエイトを積載している車両のゼッケンは、白バックに赤字とすること。また、積載ウエイトステッカーをタンクの左右どちらかに明示すること。
2位	5kg		
3位	3kg		
加算されているハンディウェイトの上限	15kg		
ハンディウェイトの減算方法	3位までに連続して2回入賞できなかった場合は、ハンディウェイトはなくなる。		

第40条 買取規定

1) 大会にて6位以内に入賞した車両は、購入希望者がいれば100万円以内で販売しなければならない。売買によって発生する税金はこの金額に含まれない。

大会組織 OFFICIALS

大会会長 President	星島 浩 Hiroshi Hoshijima
オナブルチーフオフィシャル Honorable Chief Official	藤井 璋美 Teruyoshi Fujii
オナブルチーフオフィシャル Honorable Chief Official	福永 頌 Hiroshi Fukunaga
オナブルチーフオフィシャル Honorable Chief Official	木村 吉次 Yoshitsugu Kimura
オナブルチーフオフィシャル Honorable Chief Official	近藤 幾夫 Ikkuo Kondō
オナブルチーフオフィシャル Honorable Chief Official	矢吹 圭造 Keizō Yabuki

大会組織委員会 Organizing Committee

組織委員長 President of Organizing Committee	山田 格 Itaru Yamada
組織委員 Member of Organizing Committee	樽井 良司 Ryōji Tarui
組織委員 Member of Organizing Committee	三原 哲夫 Tetsuo Mihara

大会審査委員会 Jury of the Meeting

審査委員長 President	杉本 五十洋 Isoyo Sugimoto
審査委員 Member	舘 正信 Masanobu Tachi
審査委員 Member	前山 和彦 Kazuhiko Maeyama

大会競技役員 Officials of the Base

競技監督 Clerk of the Course	和田 将宏 Masahiro Wada
副競技監督 Assistant Clerk of the Course	田村 圭二 Keiji Tamura
副競技監督 Assistant Clerk of the Course	井戸川 靖 Yasushi Idogawa
コース委員長 Chief Course Marshal	橋口 賢 Ken Hashiguchi
副コース委員長 Assistant Chief Course Marshal	坪井 清貴 Kiyotaka Tsuboi
車検長 Chief Technical Steward	西川 隆文 Takafumi Nishikawa
副車検長 Assistant Chief Technical Steward	坂口 広昭 Hiroaki Sakaguchi
副車検長 Assistant Chief Technical Steward	橋本 正 Tadashi Hashimoto
補給監査委員長 Chief Pit Inspector	神谷 和潤 Kazumasu Mitani
副補給監査委員長 Assistant Chief Pit Inspector	永橋 晃 Akira Nagahashi
計時委員長 Chief Time Keeper	早川 勉 Tsutomu Hayakawa
副計時委員長 Assistant Chief Time Keeper	牧野 真也 Shin'ya Makino
副計時委員長 Assistant Chief Time Keeper	高橋 公樹 Kōki Takahashi
進行委員長 Paddock Director	鈴木 証二 Shōji Suzuki
副進行委員長 Assistant Paddock Director	加藤 龍志 Tatsushi Katō
ピット・パドック管理委員長 Pit-Paddock Controller	内田 修一 Shūichi Uchida

副ピット・パドック管理委員長 Assistant Pit-Paddock Controller	飯田 省三 Shōzō Iida
医師団長 Chief Doctor	石原 公郎 Kimio Ishihara
救急委員長 Medical Director	室賀 良久 Yoshihisa Muroga
副救急委員長 Assistant Medical Director	榊田 勝久 Katsuhisa Masuda
副救急委員長 Assistant Medical Director	北山 貴広 Takahiro Kitayama
マーシャルライダー Marshal on the Marshal Bike	千石 清一 Seiichi Sengoku
広報委員長 Public Relation Director	後藤 博泰 Hiroyasu Gotō
大会事務局長 Secretary General	吉田 隆文 Takafumi Yoshida
大会事務局次長 Assistant Secretary	太田 潔 Kiyoshi Ōta
レースアナウンサー Official Announcer	みし奈 昌俊 Masatoshi Mishina
レースアナウンサー Official Announcer	石崎 麻子 Mako Ishizaki
鈴鹿サーキットクイーン Suzuka Circuit Queen	大前 ちづる Chizuru Ōmae
鈴鹿サーキットクイーン Suzuka Circuit Queen	癸生川優理子 Yuriko Kebukawa
鈴鹿サーキットクイーン Suzuka Circuit Queen	重久 裕貴 Yuki Shigehisa
鈴鹿サーキットクイーン Suzuka Circuit Queen	高瀬 絵里 Eri Takase

●コース	山本 信一 高橋 英樹 片畑 清 早川 範良 山元 章弘 辻井 敏行 土田 雅美 川邊 雅永 小川 賢二 田中 昭和 山下 洋 児玉 康裕 田中 悟 伊藤 昭雄 立松 誠一 石津 裕史 福谷 信行 山内 敦 西村 末吉 内田 浩一 河地 章 上條 泰 山中 公則 福島 宏泰 景山 操 加藤 博志 坪井 清貴 松宮 則人 奥田 裕典 中川 功治	岡本 篤 柴崎 哲也 村橋 辰男 伊藤 篤 伊藤 嘉浩 鎌倉 義和 水谷 信也 大野 博昭 依田 清豪 石栗 賢一 田守 郁介 東野 貴士 石田 勝規 篠原 克典 大垣真一郎 逸見 文俊 寺田 浩士 釜田 眞吾 和田 靖明 小松 晃 竹辺 奏 松村 達也 吉野 隆 馬越 大作 井上 忠 駒居 憲幸 板坂 栄次 福見 聖司 西口 博三	池戸 裕二 岩尾 隆仁 白柳 正隆 上村 栄二 白井 秀典 犬飼 善郎 青木 晃 山本 洋介 田中 利治 和木 政宏 谷 嘉都臣 本田幸太郎 入山 晃 加藤 英典 土田 博之 杉山 功 杉本 健治 別所 弘次 田中 義克 高橋 義幸 木村幸太郎 吉井 久智 井上裕紀子 中村 伸一 嶋田 創 白井 浩行 小田 拓美 渡辺 二夫 一ノ瀬博明 平岡 孝則	田中 一幸 後藤 茂弘 中塚 幸典 藤原 雅夫 坂本 庄一 山田 敏文 小林 浩 椿井 茂雄 中谷 雄介 近藤 浩二 岩田 豪 森川 宏 原 正樹 加藤 恭三 高 哲弘 鈴木 具晃 尾部 全史 田中 義和 山本 尚史 仲間 豊 小松 新吾 福田 寿也 諸岡 桂 上羽 義知 小山 博之 鈴木 一彦 上村 誠児 宮澤 謙作 中村 良美	増石 利明 ●パドック 豊田 英行 川浪 敏恵 片受 朋史 土屋 修 水谷 寿紀 丸山 彰久 霜竹 博 園岡 健治 中田 寛 木田 哲治 中森 剛 前川 敏彦 小川 桂一 山田 哲武 西村 裕之 米田 竜昇 中村 弘和 渡辺 俊之 大谷 知弘 川端 智親 渡辺 幸恵 飯田 省三 片山 睦 大江 孝次 樋口 昇三 石井 克彦 勾田 和利	赤坂 高司 安井 欣也 八木 秀晃 藤木 宏行 宇野 貴晴 雪吹 泰伸 川端 博則 吉田 学志 築山 知明 高松 幹夫 中村 仁美 岡川 正明 久本三木生 久保 博司 村上 大歩 山口 篤史 上原 剛 金谷 大輔 熊谷 祥 岩佐 ぐざえ 山崎 公義 辻 淳 松村 崇 濵野 律 井上 雅文 清瀧恵美子 南部 光男 今村 昭治 川村 信也 横山 雄一	●計時 川崎 孝則 榊木 博文 石山 満菜 中村美枝子 前田 智毅 白杵 美和 塩崎 由香 吉岡 友紀 小倉 誠 羽田 真永 牧野 真也 阪田 敏治	立石 綾 金原 有希 藤岡 邦雄 水野 百華 鷺見 朋子 松本 妙子 作本 史郎 石和田 孝 松原 貴正 篠田 雅樹 吉仲 範剛 今野 英昭 蛭原 正 小菅 孝幸 伊藤 大輔 塩田 勝美 ●レスキュー 前西 彰 上杉 耕二 濱村 康弘 新海 幸弥 小西 邦仁 水野 英治 古池 稔一 森 麻敏 山本 英一 吉村 一夫 為永 憲和 内山 充 北村 辰二	竹房 清文 高久 和敏 畑 伸武 室田 陽一 小鈞 善樹 日置 慎二 森 智英 位田 幸生 中野 直樹 ●ファイマン 辻 克也 吉田 進一 野鳥 圭 東穂 一成 ●事務局 服部 里美 浅野 亜樹 杉山 恵 次松 要 早田 尚代 伊藤 啓恭 山下 一郎 森嶋 猛 吉田久美子 ●SMSC 小林 美鈴 小林 恒太
------	---	---	--	--	--	---	--	--	--

RIDING SPORT



そのワケは、ライディングスポーツをお読み下さい。



ライディングスポーツ
7月号は絶賛発売中
定価650円(税込み) 毎月24日発売

NEWS PUBLISHING CO., INC.
株式会社 ニュース出版

〒154-8575 東京都世田谷区三宿2-4-7
TEL03-5430-4440(販売部) FAX03-5430-4455

ニュース出版インターネットホームページ <http://www.news-pub.com/>
(弊社の刊行物に関する情報をご案内いたします)
E-mailアドレス: news-pub@news-pub.com

ライバルは、
どこにいた。



スクープから試乗、バイヤーズガイドまで
クルマ生活の知恵袋

Best Car
ベストカー
BI-WEEKLY

毎月10日&26日発売

みんなのおかげで
自動車誌ナンバー1!

ワンテマがじっくり読める!
**ベストカー即効版&
別冊ベストカー**

ベストカー即効版
新車の色ツヤがよみがえる
最新クルマ磨き魔法のヒカバイブル
定価:本体660円

ベストカー即効版
すぐできる!工賃もゼロ!
最新カー用品をカンタンにつける!
定価:本体660円



200号突破!クルマ達人の必携バイブル
レッドバッジシリーズ

定価:本体980円

- 208** オートボックス流カー用品取り付けマニュアル 吉田 著
- 205** 峠・高速・ストリート最速攻略本 全日本ハイスピード倶楽部 著
- 202** 織戸学ドリフト必勝テクニック 織戸学 著



RVから始まるワンダフルワールド
新タイプのアウトドア&RVマガジン

FENEK フェネック

毎月10日発売

SUPER BIKE /S-NK



来る鈴鹿8耐の前哨戦として そして全日本選手権の重要な一戦と

START 14:15 35周

今季、全日本ロードレース選手権は昨年の全11戦から全9戦となり、当然、チャンピオンを狙うライダーたちにとって1戦1戦の持つ意味はより大きなものとなった。また、スーパーバイク200kmは“スプライト”鈴鹿8耐の前哨戦としてライダー、マシンの仕上がりを確認できる重要なレース。全日本チャンピオンと8耐優勝。このふたつの栄冠を狙うライダーたちにとって、負けられないレースがスーパーバイク200kmだ。

決勝レースは、1周約5.9kmの鈴鹿サーキットを35周、時間にして約1時間20分という長丁場で行われる。スーパーバイクの燃料タンクは最大容量が24リットルと決められており、連続走行できるのは約1時間。ということは給油のために、耐久レースさながらのピットインが必要になる。そしてこのピットインの間にタイヤ交換をするか否かで、ライダーの走り方が変わり、レース

展開も変わる。さらに、ピットインのタイミングや、ピットワークの迅速さが勝敗の鍵を握るため、チームの総合力が求められるレースである。

ライダーにとっても過酷な戦いだ。8耐では、通常、25周前後でライダー交代をするが、このスーパーバイク200kmでは、35周をひとりで走り切らなければならないため、体力、そして、ペース配分を考えるなどの冷静な判断力が必要となる。もちろん、マシンの耐久性や、安定感、速さも試されることになる。

さて、これまでのシリーズ戦を振り返ってみよう。ホンダの伊藤真一は、開幕戦では勝利を目前に痛恨の転倒。だが、第2戦では2位と確実に調子を上げ、第3戦筑波では、いよいよ表彰台の中央に立ち、復活のろしを上げた。また、開幕戦のケガで出遅れた武田雄一も、巻き返しを狙う。

ヤマハの吉川和多留は、伊藤を追い詰める激走を見せて開幕戦で優勝、一昨年のワールドスーパーバイク参戦で、更に磨きがかかった実力を示した。だが、第2戦では惜しくも転倒。第3戦でも表彰台を逃しているだけにこの200kmでは余計に気合いが入る。一方、今季から全日本スーパーバイク参戦を開始した芳賀健輔は、開幕戦からマイナートラブルがありながらも4位、7位、8位と確実にポイントを獲得。上位に絡むだけの実力を見せた。そして、ワールドスーパーバイクから、芳賀紀行が参戦する。第1戦オーストラリアのヒート2で優勝。第2戦イギリスでは両ヒートを制覇し、世界中が注目する若手ライダーに成長。世界が認める豪快なコーナリングが楽しみだ。

スズキの北川圭一は、昨年負った大腿骨骨折のケガも癒え、調子を取り戻している。開幕戦2位、第2戦4位、第3戦5位と確

して

実に上位でチェッカーを受け、現在ランキングトップ。さらに、今年から北川のチームメイトとなった梁明は、開幕戦を悪性のアレルギー性鼻炎で欠場したが、第2戦はキレのある走りを見せ優勝し、マシンの違いも問題とはなっていないようだ。

カワサキの武石伸也は、開幕戦で、鮮やかな逆転劇を見せポールポジションを獲得するが、武田同様、スタート直後のクラッシュに巻き込まれてレースを欠場。しかし第2、3戦は3位入賞を果たし、得意の鈴鹿で一気に勝利を狙う。そして今季から、カワサキワークスに入った芹沢太麻樹は、モトクロス出身ライダーらしく、マシンがスライドした時のコントロールが上手い。第2戦SUGOでは、雨の予選で2位、決勝は5位と強さをみせた。そして第3戦では初の表彰台、2位を獲得、絶好調だ。さらに、開発ライダーとして今季からカワサキと契約

し、開幕戦で3位表彰台を獲得した井筒仁康や、柳川明のチームメイトとしてワールドスーパーバイクを戦うニール・ホジソンが参戦するが、来る鈴鹿8耐をにらんでのものであることは言うまでもない。

また、ドカティの浅井一郎、ヨシムラの浜口俊之、鈴鹿レーシングスクールで腕を磨いた加藤潤一などの動きも要注目。さらに、今年から全日本スーパーバイクには改造範囲が広く、排気量も1350ccまでOKというスーパーネイキッド(S-NK)が混走となり、世界に2台とないオリジナル・マシンが登場することも大きな魅力。このS-NKは、今年から正式に8耐にエントリーが認められ、こ

の200kmでは、より注目を集めるだろう。トータルパフォーマンスに優れた4気筒750ccのスーパーバイク勢に対して、同じスーパーバイクながら軽快なハンドリングを活かしコーナーで勝負を挑むドゥカティ916やホンダVTR1000F、スズキTL1000Rなどの2気筒1000cc、そしてオリジナルチューンが施された大排気量によるストレートの速さを武器としたS-NKのエキサイティングなバトルはもちろん、このスーパーバイク200kmは、“スプライト”鈴鹿8耐に向けての各チームの仕上がり具合を見極めたり、全日本のポイント争いの熾烈さを目の当たりにできるなど、見どころ満載だ。

順位	ゼッケン/ライダー名	チーム名/マシン名	合計	第1戦もてぎ	第2戦SUGO	第3戦筑波
1	⑨北川 圭一	チーム スズキ スズキGSX-R750	41	17	13	11
2	⑥伊藤 真一	チームラッキーストライクホンダ ホンダRVF/RC45	37	-	17	20
3	④吉川和多留	Marlboro YAMAHA ヤマハYZF750	33	20	-	13
4	⑥梁 明	チーム スズキ スズキGSX-R750	30	-	20	10
4	⑦武石 伸也	カワサキレーシングチーム カワサキZX-7RR	30	-	15	15
4	⑤芳賀 健輔	Marlboro YAMAHA ヤマハYZF750	30	13	9	8

SUPER BIKE スーパースーパーバイク ライダー RIDER プロフィール PROFILE



芳賀 紀行 1
NORIYUKI HAGA

Hometown: Aichi
 Birthdate: March.2.1975
 1998 Team: ヤマハレーシング・チーム
 Machine: YAMAHA YZF750

92年関東選手権SP250ランキング2位。94年からスーパースーパーバイク参戦。プライベート時代から、豪快な走りを見せ頭角を現す。96年は、一段と速さを増し、鈴鹿8耐優勝を飾り、スター

への階段を一気に駆け上がった。97年は、文句なしのチャンピオンを獲得。今季は、ワールドスーパースーパーバイクで大活躍中である。



伊藤 真一 5
SHIN'ICHI ITŌ

Hometown: Miyagi
 Birthdate: December.7.1966
 1998 Team: チームラッキーストライクホンダ
 Machine: HONDA RVF/RC45

88年に大抜擢でHRC入りし、全日本GP500でランキング2位を獲得。翌89年には、同チャンピオンに輝いた。93年から世界GP、500ccクラスに参戦し、94年には同ランキング4位を

獲得。97年から全日本スーパースーパーバイクに参戦。同年の8耐では宇川徹と組んで、フルタイム8耐では初の日本人ペアの優勝を成し遂げた。



梁 明 6
AKIRA RYŌ

Hometown: Tokyo
 Birthdate: October.20.1967
 1998 Team: チームスズキ

94年のMINEで、プライベートながら優勝。96年には、カワサキワークスに迎えられ、ランキング2位を獲得する活躍を見せた。97年は、ランキング6位となるが、勢いのある走り

レースを盛り上げた。今季はスズキに電撃移籍。開幕戦はアレルギー性鼻炎の悪化で欠場するが、第2戦では優勝と実力をアピールしている。



北川 圭一 9
KEIICHI KITAGAWA

Hometown: Kyoto
 Birthdate: March.24.1967
 1998 Team: チームスズキ

ルーキーの北川が、カワサキでチャンピオンを獲得したのが93年。スズキに電撃移籍した96年までカワサキのエースとして活躍。96年は、シーズン序盤に大腿骨を折るケガで出遅れラン

キング9位となるが、実力はトップクラス。開幕戦で3位。第2戦で4位と確実にポイントをゲット。タイトル獲得に向けて確実な走りを見せている。



井筒 仁康 12
HITOYASU IZUTSU

Hometown: Osaka
 Birthdate: March.20.1971
 1998 Team: カワサキレーシングチーム
 Machine: KAWASAKI ZX-7RR

97年は、ドゥカティを駆り、ワークスを追い回す走りを披露。今季は、カワサキのテストライダー契約。初めてのカワサキでのレースとなった開幕戦ツインリンクもてぎでは、鈴鹿8耐

仕様のマシンながら、3位で初表彰台を獲得。スーパースーパーバイク200kmが、今季2戦目のレースとなる。フル参戦ではないだけに、この1戦に賭ける意気込みは大きい。



武田 雄一 3

YŪICHI TAKEDA

Hometown:
Saitama

Birthdate:
November.29.1977

1998 Team:
チーム
ラッキー 스트ライクホンダ

Machine:
HONDA RVF/RC45

94年鈴鹿4耐2位。関東選手権GP250チャンピオン。鈴鹿選手権SP250ランキング2位。翌95年、世界GPの前座レースであるサンダーバイクに参戦。96年にHRC入り。97年には、チャ

ンピオン争いをするまでに成長。今季は、開幕戦のクラッシュに巻き込まれ右膝内側じん帯を切るケガで出遅れた。これからの巻き返しに期待がかかる。



吉川和多留 4

WATARU YOSHIKAWA

Hometown:
Tokyo

Birthdate:
September.26.1968

1998 Team:
Marlboro
YAMAHA

Machine:
YAMAHA YZF750

プライベート時代、ワークスを追いかけて回した実力が買われてヤマハワークス入り。94年に初代全日本スーパーバイクチャンピオンに輝いた。96年は、ワールドスーパーバイク参戦。

ランキング9位と大健闘。97年は、日本に戻り、同ランキング4位。今季は、開幕戦ツインリンクもてぎで勝利を挙げ、巻き返しに余念がない。



武石 伸也 7

SHIN'YA TAKEISHI

Hometown:
Hokkaido

Birthdate:
October.5.1967

1998 Team:
カワサキ
レーシングチーム

Machine:
KAWASAKI ZX-7RR

96年にカワサキに移籍し、新たなチャレンジを開始する以前は、ホンダワークスのエースライダーとして、常にチャンピオン争いを繰り広げてきた。95年のスーパーバイクでは、ランキン

グ2位を獲得。移籍3年目となる今年は、勝負の年。タイトル獲得同様に鈴鹿8耐優勝を大きな目標としており、スーパーバイク200kmは負けられない戦いだ。



芹沢太麻樹 8

TAMAKI SERIZAWA

Hometown:
Saitama

Birthdate:
September.28.1972

1998 Team:
カワサキ
レーシングチーム

Machine:
KAWASAKI ZX-7RR

モトクロスから、ロードレースへと転向したのは92年。あの平さんの誘いがきっかけだった。93年にスーパーカップ250のチャンピオン獲得。その後ヨシムラ入りし、97年には全日本ス

ーパーバイクのランキング8位。今季から、カワサキワークス入りを果たした。開幕戦では転倒してしまうが、第2戦では5位入賞と頭角を現してきた。



芳賀 健輔 51

KENSUKE HAGA

Hometown:
Aichi

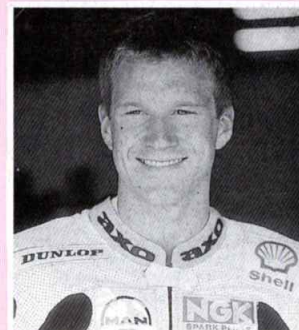
Birthdate:
June.1.1973

1998 Team:
Marlboro
YAMAHA

Machine:
YAMAHA YZF750

97年は、全日本GP250クラスでYZRの開発をしながら、チャンピオン争いに加わる健闘でランキング2位獲得。今季は、念願叶ってスーパーバイク参戦のチャンスをつかんだ。体格的にも

大排気量が合うと言われていただけに、違和感なくマシンを操り、非凡さを見せている。弟・紀行が残したチャンピオンを目標とし、その果敢な走りに期待が集まっている。



ニール・ホジソン 56

NEIL HODGSON

Hometown:
BURNLEY/ENGLAND

Birthdate:
November.20.1973

1998 Team:
カワサキ
レーシングチーム

Machine:
KAWASAKI ZX-7RR

92年にイギリス国内GP125クラスのチャンピオンに輝き、96年からドゥカティを駆りワールドスーパーバイクに参戦を開始。そして昨年はシリーズランキング9位を獲得する。今年からカ

ワサキ・ワークス入りしたが、ワールドスーパーバイクでは未だ勝利はない。器用なライダーであり、今後の活躍が注目されるライダーのひとり。

SUPER BIKE & S-NK MACHINES



ホンダRVF/RC45



ヤマハYZF750



スズキGSX-R750



カワサキZX-7RR



ホンダVTR1000F (モリワキ)



スズキTL1000R (チーム・スズキ)



ドゥカティ916 (チーム・ファンデーション)

市販マシンをベースに、厳しい規制の中で極限までポテンシャルが高められたスーパーバイク。そして今年、ベース車からの改造がほぼ全面的に認められているスーパーネイキッド (S-NK) が全日本スーパーバイクと混走となった。

今年で5シーズン目を迎える全日本スーパーバイクシリーズ。その核を成すのは、ホンダ、ヤマハ、スズキ、カワサキが投入する、いわゆるワークスマシンだ。

ホンダRVF/RC45とヤマハYZF750は、TTF1時代から基本的部分が受け継がれており、熟成を重ね、すでに完成の域に達しているといわれている。一方のカワサキは、昨シーズンからカムギヤトレイン採用の新型ZX-7RRに生まれ変わり、確実な進化を遂げている。また、今年からインジェクション仕様となったスズキの新型GSX-R750は、早くもシリーズ第2戦で梁明が優勝するなど、仕上がりは順調だ。一方で、今年2気筒のスーパーバイクの参戦も目立つ。2気筒の場合は、4気筒の750ccという上限排気量に対して、1000ccまで認められている。全日本にエントリーする2気筒スーパーバイクはドゥカティ916、ホンダVTR1000F、スズキTL1000Rの3台だ。

さて、今年からこのスーパーバイクと混走となる

スーパーネイキッドとは、NK1とX-Formulaの総称で、NK1は自然吸気4ストロークで、排気量750ccを超えるスチールパイプ・フレームの一般生産型マシンをベースにしたもの。一方のX-Formulaは、自然吸気4ストロークで、改造前の排気量が800cc以上の一般生産型エンジンを搭載すれば、そのほかの改造はほぼ自由であり、まさにモンスターマシンといえる。単純に考えれば、スーパーネイキッドがその主導権を握りそうだが、こちらには1大会で6位以内に入賞したマシンは、希望者がいればNK1は200万円、X-Formulaは350万円ですべて売却しなければならないという独自の「買い取り制度」規定が設けられており、これが改造の範囲とコストに歯止めをかけている。

今年の全日本スーパーバイクは、どんなマシンが出てくるかにも注目が集まるわけだが、トータルパフォーマンスの4気筒スーパーバイク、軽快なハンドリングでコーナリング特性を活かした2気筒スーパーバイク、そして最大1350ccまで認められる

特大排気量による最高速重視のスーパーネイキッドの、それぞれの特性を活かした戦いとなる。

S-NK



ホンダVTR1000F/S-NK仕様 (モリワキ)



カワサキZX-9R (Team YELLOWCORN)

群を抜く!!

オートバイ

毎月1日発売

Mr. Bike エス・バイク

毎月6日発売

Mr. Bike エス・バイク BG Bike's Guide

毎月14日発売

GOGGLE

毎月24日発売

新車速報から、
絶版旧車ガイド、
最新中古情報、
そして旅のガイドまで
ライダーの
バイクライフを
バックアップ



面白さ!!

モーターマガジン社 Tel.03-3434-3151
<http://www.mediagalaxy.co.jp/MCUBE/>

GP250



GP250クラスに異変勃発 チャンピオン大治郎の巻き返しは？

START 13:00 17周

全日本開幕前に行われた世界選手権マールポロGP、250ccクラスの表彰台を、ワイルドカード参戦の全日本勢が独占した。勝ったのは、加藤大治郎。今季からフルモデルチェンジされたホンダのニューNSRで、昨年に続き2連覇を飾り、全日本チャンピオンの貫録を見せた。2位には、ヤマハのエース中野真矢。3位には、初めてワークスマシンYZRを駆る松戸直樹が入った。

この3人が、全日本の戦いでもぶつかり合うことになるだろうと思われたが、開幕

戦ツインリンクもてぎでは、事前テストからの好調さを示していた中野がポールポジションを獲得。決勝でも、難なくトップに躍り出ると、誰にも邪魔されることなく勝利、マールポロGPの2位の悔しさを晴らす。第2、3戦も、予選トップを獲得すると、その勢いのまま優勝。3戦連続ポールtoフィニッシュを決めた本人は、上手く行き過ぎている展開に戸惑いながら「苦戦するとばかり思っていたのに…」とライバル不在のレースに物足りなさを感じているようでもある。

チャンピオン候補の筆頭である大治郎は、開幕戦のスタート直後に転倒するが、赤旗中断、再スタート後、2位に入る。このレースで、松戸もコースアウト、10位まで順位を落としながら、3位に入る力走を見せた。危なげながらも、2位、3位に入ったふたりだったが、第2戦SUGOでは、ウェットからドライへ変わる難しい路面状況となり、松戸は転倒。大治郎は5位となってしまった。大治郎は、完成したばかりのマシン、松戸は、今季から乗るマシンとテスト不足が露呈した結果となってしまった。「このままでは引き下がれない」と闘志をかき立てているふたりは、得意の鈴鹿で、勝負を賭けてくるだろう。ただし、第3戦筑波で、3連勝を達成した中野に対し、大治郎は転

GP250 第3戦終了時点でのランキング トップ6

順位	セクセン/ライダー名	チーム名/マシン名	合計	第1戦もてぎ	第2戦SUGO	第3戦筑波
1	66中野 真矢	BP YAMAHA RT ヤマハYZR	60	20	20	20
2	7亀谷 長純	チーム スズキ スズキRGV-Γ	39	11	13	15
3	6玉田 誠	Team 高武 RSC ホンダRS	34	13	8	13
4	4松戸 直樹	YESS レーシングチーム ヤマハYZR	32	15	-	17
5	1加藤大治郎	Castrol HONDA ホンダNSR	28	17	11	-
6	14山口 辰也	カストロールTEAMハルクラブプロ ホンダRS	27	7	9	11

ライダープロフィール



加藤 大治郎

DAIJIRŌ KATŌ

Hometown:
Saitama

Birthdate:
July.4.1976

1998 Team:
Castrol
HONDA

Machine:
HONDA NSR250

1

93年九州選手権GP250、GP125、SP250チャンピオン。95年国際A級昇格、期待のルーキーとして全日本GP250デビュー。チャンピオン候補と言われながらも無冠が続いた。97年ホンダワークス入り。速さに安定感が加わり8勝を挙げ、文句なしのチャンピオンに輝いた。ワイルドカード参戦のマルボロGPは2連覇。今季は、V2を狙う。



松戸 直樹

NAOKI MATSUDO

Hometown:
Chiba

Birthdate:
July.25.1973

1998 Team:
YESS
レーシングチーム

Machine:
YAMAHA YZR250

4

原田哲也の後輩として、原田の後を追うようにレースを続けて来た。250のスペシャリストとして、市販TZ250を駆り、トッププライベーターとして活躍。96年ランキング5位。97年ランキング4位と躍進。今季は念願のワークスマシンを得た。ワイルドカードでのマルボロGPでは3位表彰台獲得。全日本開幕戦も3位と、実力をアピール。



亀谷 長純

CHŌJUN KAMEYA

Hometown:
Saitama

Birthdate:
November.10.1976

1998 Team:
チーム スズキ

Machine:
SUZUKI RGV-Γ 250

7

世界GPで活躍するノリック(阿部典史)や全日本の大治郎、武田とミニバイク時代のチームメイト。ポテンシャルの高さは評価されている。94年菅生選手権SP250チャンピオン。95年スズキワークスに迎えられる。全日本フル参戦は97年からで、ランキング7位を獲得している。今年、第1戦5位、第2戦4位と確実にポイントを稼いでいる。

倒して鎖骨を折ってしまい、治り具合が気になるところ。

第4戦となる鈴鹿は、第2戦SUGOで2位表彰台を獲得した加賀山就臣は、再び藤原克昭のピンチヒッターとして世界GP参戦のためにキャンセル。代わって開幕戦5位、第2戦4位、第3戦3位と徐々に順位を上げてきた亀谷長純が、スズキワークスの意地を見せてトップ争いに加わるようになるのか。それとも、玉田誠を始めとするプライベーター勢、原田伸也、山口辰也らが、表彰台圏内へと飛び込んでくるのか、興味は尽きない戦いになりそうだ。



中野 真矢

SHIN'YA NAKANO

Hometown:
Chiba

Birthdate:
October.10.1977

1998 Team:
BP YAMAHA RT

Machine:
YAMAHA YZR250

56

ポケバイ、ミニバイクとキャリアを重ね、94年鈴鹿選手権SP250チャンピオン。95年は全日本GP125参戦。96年同ランキング6位獲得。97年ヤマハワークスに迎えられ全日本GP250に参戦、2連勝を飾るなどの活躍でランキング5位。今季は、ワイルドカード出場のマルボロGPで2位。全日本では、開幕戦、第2戦とポールトゥウィンを飾り絶好調。

ENTRY LIST

SUPER BIKE/SUPER-NK

No.	Gr.	クラス	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	予選 順位	決勝 順位
1	A	SB	芳賀 紀行 NORIYUKI HAGA	23	愛知	ヤマハ YZF750	ヤマハ・レーシング・チーム		
3	B	SB	武田 雄一 YÜCHI TAKEDA	20	埼玉	ホンダ RVF/RC45	チームラッキーストライクホンダ		
4	A	SB	吉川 和多留 WATARU YOSHIKAWA	29	東京	ヤマハ YZF750	Marlboro YAMAHA		
5	B	SB	伊藤 真一 SHIN'ICHI ITÔ	31	宮城	ホンダ RVF/RC45	チームラッキーストライクホンダ		
6	A	SB	梁 明 AKIRA RYÔ	30	静岡	スズキ GSX-R750	チーム スズキ		
7	B	SB	武石 伸也 SHIN'YA TAKEISHI	30	北海道	カワサキ ZX-7RR	カワサキレーシングチーム		
8	A	SB	芹沢 太麻樹 TAMAKI SERIZAWA	25	埼玉	カワサキ ZX-7RR	カワサキレーシングチーム		
9	B	SB	北川 圭一 KEIICHI KITAGAWA	31	静岡	スズキ GSX-R750	チーム スズキ		
12	B	SB	井筒 仁康 HITOYASU IZUTSU	27	東京	カワサキ ZX-7RR	カワサキレーシングチーム		
13	A	SB	鎌田 学 MANABU KAMADA	27	三重	ホンダ RVF/RC45	Team桜井ホンダ		
16	B	SB	長谷川 克憲 KATSUNORI HASEGAWA	29	千葉	ヤマハ YZF750	TEAM ITA&RC-SUGO		
17	A	SB	原口 祐二 YÛJI HARAGUCHI	30	三重	ホンダ RVF/RC45	爽風会・鈴鹿レーシングチーム		
19	B	SB	西嶋 修 OSAMU NISHIJIMA	27	大阪	カワサキ ZX-7RR	チーム阪神ライディングスクール		
21	A	SB	金安 智彦 TOMOHIKO KANEYASU	36	新潟	ホンダ RVF/RC45	De'fi T.KANEYASU		
24	B	SB	青柳 幸広 YUKIHIRO AOYANAGI	26	大阪	ヤマハ YZF750	SWIFT・R・MOTUL		
25	A	SB	梨本 圭 KEI NASHIMOTO	27	東京	ホンダ VTR1000F	モリワキレーシング		
26	B	X-F	鶴田 竜二 RYÛJI TSURUTA	32	神奈川	カワサキ ZX-9R	Team YELLOWCORN		
27	A	SB	新井 秀也 SHÛYA ARAI	32	愛知	ホンダ VTR1000F	モリワキレーシング		
29	B	SB	東村 伊佐三 ISAMI HIGASHIMURA	31	愛知	カワサキ ZX-7RR	RS-ITOH		
31	A	SB	泉名 英男 HIDEO SENMYÔ	32	埼玉	ホンダ RVF/RC45	ホンダ ブルーヘルメットMSC		
32	B	SB	小林 敏也 TOSHIYA KOBAYASHI	31	滋賀	ホンダ RVF/RC45	RG・NIWA MK		
34	A	SB	深見 貴広 TAKAHIRO FUKAMI	27	愛知	ヤマハ YZF750	クレバーウルフレーシング&EF		
35	B	SB	水澤 保 TAMOTSU MIZUSAWA	29	滋賀	カワサキ ZX-7RR	月の輪自動車教習所山科カワサキ		
36	A	SB	宗和 孝宏 TAKAHIRO SÔWA	32	兵庫	ホンダ RVF/RC45	Team Iwaki		
38	A	SB	中村 健一郎 KEN'ICHIRO NAKAMURA	29	茨城	ホンダ RVF/RC45	ホンダブルーヘルメットMSC		
40	B	SB	清水 和樹 KAZUKI SHIMIZU	23	兵庫	カワサキ ZX-7RR	BEET IGOL OIL		
41	A	SB	加藤 潤一 JUN'ICHI KATÔ	21	愛知	ヤマハ YZF750	Team YDS		
42	B	X-F	アンソニー・ウエスト ANTHONY WEST	16	オーストラリア	ホンダ VTR1000F	モリワキレーシング		
44	A	SB	高橋 芳延 YOSHINOBU TAKAHASHI	30	兵庫	ホンダ RVF/RC45	D.D.BOYS Racing		
45	B	SB	浜口 俊之 TOSHIYUKI HAMAGUCHI	27	愛知	スズキ GSX-R750	ヨシムラ・スズキ・GP1プラス		
46	A	X-F	時永 真 MAKOTO TOKINAGA	26	静岡	ヤマハ YZF1000R	磐田レーシングファミリー		
47	B	SB	中澤 敬一 KEIICHI NAKAZAWA	31	宮城	カワサキ ZX-7RR	遠藤輪業RT&スペースアート		
48	A	SB	鈴木 孝之 TAKAYUKI SUZUKI	31	栃木	ホンダ RVF/RC45	ホンダ ブルーヘルメットMSC		
49	B	SB	上村 芳範 YOSHINORI KAMIMURA	24	大阪	ホンダ VTR1000F	P'Sサブライ+中井輪業		
50	A	X-F	大内田 実 MINORU OUCHIDA	32	三重	カワサキ ZX-9R	ビーズ サブライ		
51	B	SB	芳賀 健輔 KENSUKE HAGA	24	愛知	ヤマハ YZF750	Marlboro YAMAHA		
52	A	SB	薄井 誠 MAKOTO USUI	31	東京	ヤマハ YZF750	レーシングチーム OutRun		
53	B	X-F	今井 伸一郎 SHIN'ICHIRO IMAI	31	大阪	カワサキ ZX-9R	BEET IGOL OIL		

クラス略称 SB:SUPER BIKE・X-F:X-Formula

参加台数76台 決勝出走台数44台
決勝スタート 14:15 35周

No.	Gr.	クラス	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	予選 順位	決勝 順位
54	A	SB	神 貴朗 TAKAAKI JIN	22	北海道	ホンダ RVF/RC45	TEAM MONZAKI		
55	B	SB	高津戸 義彦 YOSHIHIKO TAKATSUTO	25	三重	ホンダ RVF/RC45	D.D.BOYS Racing		
56	A	SB	ニール・ホジソン NEIL HODGSON	24	イギリス	カワサキ ZX-7RR	カワサキレーシングチーム		
57	B	X-F	岸田 尊陽 TAKAHARU KISHIDA	27	大阪	カワサキ ZX-9R	マクガイヤー&SS FUSE		
58	A	X-F	古林 重敏 SHIGETOSHI KOBAYASHI	26	大阪	スズキ TL1000S	アドバン&EYE LINEGO		
59	B	SB	新垣 敏之 TOSHIYUKI ARAGAKI	33	神奈川	ホンダ RVF/RC45	Team VITALSPIRIT		
60	A	X-F	大段 貴雄 TAKAO ÔDAN	32	大阪	スズキ TL1000R	TEAM ADACHI		
61	B	SB	河村 康成 YASUNARI KAWAMURA	29	熊本	ホンダ RVF/RC45	HONDA熊本レーシング		
62	A	NK1	水谷 勝 MASARU MIZUTANI	48	愛知	スズキ GSF1200	Team SURF GSF		
63	B	SB	大崎 隆一 RYÛICHI ÔSAKI	30	千葉	スズキ GSX-R750	JAJA ミクニテリー&カー		
64	A	SB	前嶋 秀典 HIDENORI MAESOBA	31	東京	ホンダ RVF/RC45	明和レーシング クラブ		
65	B	SB	塚本 正章 MASAOKI TSUKAMOTO	27	熊本	ホンダ RVF/RC45	本田熊本RT		
66	A	SB	渡辺 克也 KATSUYA WATANABE	36	岩手	ホンダ RVF/RC45	BIGBOX.RACING		
67	B	SB	小倉 直人 NAOTO OGURA	29	新潟	スズキ GSX-R750	ヨシムラスズキGP1プラス		
68	A	SB	大西 英樹 HIDEKI ÔNISHI	29	滋賀	カワサキ ZXR750R	カーコム・トガワ山科カワサキ		
69	B	SB	塩見 啓二 KEIJI SHIOMI	29	大阪	スズキ GSX-R750	GARフィールド&T.RSK		
70	A	SB	武山 祐介 YÛSUIKE TAKEYAMA	26	宮城	ヤマハ YZF750	MOTOTECR4RCSUGO		
71	B	SB	山川 守 MAMORU YAMAKAWA	45	愛知	カワサキ ZXR750R	チャレンジ・オブ・ヤマカワ		
72	A	SB	中川 直史 NAOSHI NAKAGAWA	25	三重	ホンダ RVF/RC45	ホンダ浜友会浜松エスカルゴ		
73	B	SB	木村 知博 TOMOHIRO KIMURA	28	大阪	カワサキ ZXR750	徳永屋山中建設+GMD		
74	A	SB	小田切 紀和 NORIKAZU ODAGIRI	30	埼玉	ホンダ RVF/RC45	ホンダむさしの会狭山レーシング		
75	B	SB	川瀬 裕昌 HIROAKI KAWASE	29	大阪	スズキ GSX-R750	JAJA/丸高E・ファクトリー		
76	A	SB	竹見 升吾 SHÔGO TAKEMI	35	大阪	ヤマハ YZF750	エッチング・ファクトリー&CW		
77	B	SB	南川 耕蔵 KÔZÔ MINAMIKAWA	30	大阪	ヤマハ YZF750	エッチングファクトリー&CW		
78	A	SB	尾藤 哲也 TETSUYA BITÔ	33	大阪	スズキ GSX-R750	丸高・エッチングファクトリー		
79	B	SB	清水 匠 TAKUMI SHIMIZU	32	神奈川	ヤマハ YZF750	TEAMエバタ		
80	A	NK1	上中 靖司 SEIJI KAMINAKA	32	東京	スズキ GSF1200	JAJA・ミクニテリー&カー		
81	B	X-F	箕田 貴司 TAKASHI MINODA	27	愛知	ホンダ CBR900RR	チームヨシハルCBR&モチュール		
82	A	SB	小林 裕樹 HIROKI KOBAYASHI	29	大阪	スズキ GSX-R750	GARフィールド&T・RSK		
83	B	NK1	山下 繁 SHIGERU YAMASHITA	27	兵庫	カワサキ ZRX1100	Team 38		
84	A	X-F	大西 敬紀 TAKATOSHI ÔNISHI	28	三重	ヤマハ YZF-R1	OVER de"LIGHT		
86	A	X-F	安達 光司 KÔJI ADACHI	30	大阪	ホンダ VTR1000F	アイライン&モトスクラム立秋M		
87	B	NK1	宇佐見 保弘 YASUHIRO USAMI	32	大阪	スズキ GSF1200	アイライン		
88	A	SB	鈴木 徹 TÔRU SUZUKI	31	大阪	カワサキ ZXR750R	GMDコンピュータトラックJP		
89	B	SB	青木 朋直 TOMONAO AOKI	24	山口	スズキ GSX-R750	SBSライダーズキャビンRT		
98	A	SB	渡辺 篤 ATSUSHI WATANABE	21	静岡	スズキ TL1000R	チーム スズキ		
99	B	X-F	小西 良輝 YOSHITERU KONISHI	28	京都	ホンダ CBR900RR	Spec-Aヤマモトレレーシング		
916	B	SB	浅井 一郎 ICHIRÔ ASAI	24	宮城	ドゥカティ 916	チーム・ファンデーション		

ENTRY LIST

GP250

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	予選 順位	決勝 順位
1	A	加藤 大治郎 DAJIRO KATŌ	21	埼玉	ホンダ NSR250	CastrolHONDA		
4	B	松戸 直樹 NAOKI MATSUDO	24	千葉	ヤマハ YZR250	YESSレーシングチーム		
6	B	玉田 誠 MAKOTO TAMADA	21	愛媛	ホンダ RS250R	Team高武RSC		
7	A	亀谷 長純 CHŌJUN KAMEYA	21	静岡	スズキ RGV-Γ250	チームスズキ		
8	B	原田 伸也 SHIN'YA HARADA	26	千葉	ヤマハ TZ250	CtheD・チームSP忠男		
9	A	野田 弘樹 HIROKI NODA	28	奈良	TSRホンダ AC27M	BS&TSR		
11	B	関口 太郎 TARŌ SEKIGUCHI	22	東京	ヤマハ TZ250	BP YAMAHA RT		
14	B	山口 辰也 TATSUYA YAMAGUCHI	22	埼玉	ホンダ RS250R	カストロールTEAMハルクプロ		
15	A	中富 伸一 SHIN'ICHI NAKATOMI	19	福岡	ホンダ RS250R	Team高武RSC		
16	B	及川 誠人 SEIJIN OIKAWA	27	東京	ヤマハ TZ250	スポーツライダー&PLUSμ		
17	A	伊 昌憲 MASANORI YUN	25	愛知	ホンダ RS250R	ライダーズサロン横浜・花菱		
18	B	榊原 礼視 REIJI SAKAKIBARA	27	大阪	ヤマハ TZ250	チームモトスペースTODAYA		
22	A	村田 芳成 YOSHINARI MURATA	28	大阪	ヤマハ TZ250	モトスポーツマルタ GK		
25	B	小野寺 貴行 TAKAYUKI ONODERA	25	宮城	ヤマハ TZ250	日石&森のくまさんMIZTEC		
26	A	江口 謙 KEN EGUCHI	25	神奈川	ヤマハ TZ250	SP忠男レーシングチーム		
31	B	石井 孝之 TAKAYUKI ISHII	28	千葉	ヤマハ TZ250	ミクニ, クラブベントイスRP		
36	A	田村 則夫 NORIO TAMURA	31	神奈川	ヤマハ TZ250	ツツミモーターズ2F		
37	B	山本 昌司 MASAJI YAMAMOTO	23	愛知	ヤマハ TZ250	TEAM.YDS.YAMAHA		
38	A	西川 満 MITSURU NISHIKAWA	29	三重	ヤマハ TZ250	チーム モトスペースレーシング		
39	B	団 和仁 KAZUYOSHI DAN	24	大阪	ホンダ RS250R	MAXIMA BADBOYRT		
40	A	加藤 達也 TATSUYA KATŌ	24	愛知	ヤマハ TZ250	ブレイメイトレーシング		
41	B	興梠 義則 YOSHINORI KŌROGI	25	三重	ホンダ RS250R	爽風会 鈴鹿レーシングチーム		
42	A	大西 明 AKIRA ŌNISHI	32	大阪	ヤマハ TZ250	大阪SAM.RT.カストロール		
43	B	高橋 孝浩 TAKAHIRO TAKAHASHI	26	東京	ヤマハ TZ250	CISC レーシング		
44	A	秋葉 裕樹 HIROKI AKIBA	25	東京	ヤマハ TZ250	ブレイメイトレーシング東京		
45	B	長岡 俊宏 TOSHIHIRO NAGAOKA	27	兵庫	ヤマハ TZ250	HITMANRC甲子園-ヤマハ		
46	A	渡辺 敦 ATSUSHI WATANABE	24	千葉	ヤマハ TZ250	SP忠男レーシングチーム		
47	B	赤木 哲也 TETSUYA AKAGI	26	静岡	ホンダ RS250R	ホンダ浜友会浜松エスカルゴ		
48	A	中岡 光輝 MITSUTERU NAKAOKA	29	兵庫	ホンダ RS250R	RT PENGUIN		
49	B	瀬崎 恭広 YASUHIRO SEZAKI	29	岡山	ヤマハ TZ250	激カメイR&T深津と前田工作所		
50	A	宮田 剛志 KŌJI MIYATA	30	三重	ホンダ RS250R	ソウルアドバンスヨシカワ		
51	B	小口 亘 WATARU OGUCHI	31	千葉	ヤマハ TZ250	ALLMAN&MOTUL都栄会		
52	A	小林 健次 KENJI KOBAYASHI	28	埼玉	ホンダ RS250R	ホンダ埼玉製作所和光 明和RC		
53	B	名倉 嘉一 KAICHI NAGURA	27	静岡	ホンダ RS250R	ホンダ浜友会浜松エスカルゴ		
54	A	溝口 真弘 MASAHIRO MIZOGUCHI	24	静岡	ヤマハ TZ250	TEAM伸興通産JRRacing		
55	B	松井 智史 SATOSHI MATSUI	26	東京	ヤマハ TZ250	ブレイメイトレーシング東京		
56	A	中野 真矢 SHIN'YA NAKANO	20	千葉	ヤマハ YZR250	BP YAMAHA RT		
57	A	和田 信治 SHINJI WADA	29	東京	ヤマハ TZ250	スポーツライダー&KISSRT		
58	B	平井 義貴 YOSHITAKA HIRAI	25	埼玉	ホンダ RS250R	ホンダむさしの会狭山レーシング		

参加台数77台 決勝出走台数44台
決勝スタート 13:00 17周

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	予選 順位	決勝 順位
59	A	増澤 俊哉 TOSHIYA MASUZAWA	26	三重	ホンダ RS250R	D.D.BOY'S Racing		
60	B	山下 裕介 YUSUKE YAMASHITA	21	兵庫	ヤマハ TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ		
61	A	前田 剛 TSUYOSHI MAEDA	37	奈良	ヤマハ TZ250	クーベ レーシングプロジェクト		
62	B	林 祐孝 MASATAKA HAYASHI	28	愛知	ヤマハ TZ250	RT・クウォリティYAMAHA		
63	A	三田 博正 HIROMASA MITA	26	大阪	ヤマハ TZ250	EYELINE&T.O.RR		
64	B	清水 利郎 TOSHIRO SHIMIZU	36	愛知	ホンダ RS250R	TEAM富士精工C-max高阪		
65	A	門田 祐二 YUJI KADOTA	28	福岡	ヤマハ TZ250	TEAMモトスポーツ		
66	B	橋本 泰英 YASUhide HASHIMOTO	21	愛知	ホンダ RS250R	TEAM SRS-J		
67	A	村上 俊成 TOSHINARI MURAKAMI	20	静岡	ホンダ RS250R	オートランドいわたRT・TYO		
68	B	大山 真 MAKOTO OYAMA	24	愛知	ヤマハ TZ250	TEAM YDS YAMAHA		
69	A	青木 淳次 JUNJI AOKI	30	長野	ヤマハ TZ250	ツツミ モーターズ		
70	B	小口 理 OSAMU OGUCHI	31	長野	ヤマハ TZ250	ALLMAN&MOTUL		
71	A	鈴木 達弥 TATSUYA SUZUKI	29	山梨	ヤマハ TZ250	ペンタグラム		
72	B	新地 雄太 YUTA SHINCHI	20	沖縄	ERPホンダ NER250	ENDURANCE		
73	A	田中 大輔 DAISUKE TANAKA	28	愛知	ヤマハ TZ250	TEAM YDS YAMAHA		
74	B	小谷田 欽章 YOSHIKI KOYATA	27	東京	ヤマハ TZ250	J・RACING内外钣金		
75	A	石岡 俊輔 SHUNSUKE ISHIOKA	26	神奈川	ヤマハ TZ250	ミクニ・クラブペンティスRP		
76	B	前田 努 TSUTOMU MAEDA	31	熊本	ホンダ RS250R	HONDA熊本レーシング		
77	A	伊藤 之祥 YUKIHIRO ITO	29	香川	ホンダ RS250R	ブルーライトニングbyホリケ		
78	B	田嶋 修 OSAMU TAJIMA	32	長野	ヤマハ TZ250	ツツミモーターズカストロール		
79	A	岡崎 忠敏 TADATOSHI OKAZAKI	26	岡山	ヤマハ TZ250	RC.ORANGEysp岡山南		
80	B	稲垣 誠 MAKOTO INAGAKI	22	三重	ホンダ RS250R	テクニカルスポーツ&アケノS		
81	A	吉田 和司 KAZUSHI YOSHIDA	28	大阪	ヤマハ TZ250	中筋 誠		
82	B	金沢 伸也 SHIN'YA KANAZAWA	27	東京	ヤマハ TZ250	Team YSP 町田中央		
83	A	吉澤 隆 TAKASHI YOSHIZAWA	29	神奈川	ヤマハ TZ250	ペンタグラム		
84	B	桜井 晋吾 SHINGO SAKURAI	23	神奈川	ホンダ RS250R	テクニカルスポーツ関東		
85	A	竹下 敦 ATSUSHI TAKESHITA	27	東京	ホンダ RS250R	レオスファニーWINGオクムラ		
86	B	笠 孝臣 TAKAOMI RYU	28	熊本	ホンダ RS250R	HONDA熊本レーシング		
87	A	相野 大介 DAISUKE AINO	24	福岡	ヤマハ TZ250	ウエストウイン&YSP福岡東		
88	B	伊原 有原 YUGEN IHARA	28	東京	ヤマハ TZ250	プレイメイトレーシング東京		
89	A	黒川 武彦 TAKEHIKO KUROKAWA	34	栃木	ホンダ RS250R	ビザラアイファクトリーレオス		
90	B	安達 壇 DAN ADACHI	25	東京	ホンダ RS250R	ヒステリックグラマーヒリュール		
91	A	井上 和英 KAZUhide INOUE	28	栃木	ホンダ RS250R	スクーデリア・イノウエ RSY		
97	B	永山 誠 MAKOTO NAGAYAMA	24	静岡	ホンダ RS250R	ホンダ浜友会浜松エスカルゴ		
98	A	土井 柁哉 MASAYA DOI	27	埼玉	ヤマハ TZ250			
99	B	末続 仁厚 KIMIATSU SUETSUGU	28	神奈川	ホンダ RS250R	ペンタグラム		
100	A	畠山 研二 KENJI HATAKEYAMA	24	愛知	ヤマハ TZ250	プレイメイトレーシング		
109	B	嘉陽 哲久 TEKKYU KAYO	16	東京	TSRホンダ AC27M	F・C・CTSR		

ENTRY LIST

GPI25

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	予選 順位	決勝 順位
1	A	秋田 貴志 TAKASHI AKITA	24	神奈川県	ヤマハ TZ125	TEAM伸興通産JRRacing		
2	B	菊池 寛幸 HIROYUKI KIKUCHI	32	京都	ホンダ RS125R	TUBER&Ablecom.		
4	A	大崎 誠之 NOBUYUKI ŌSAKI	27	福岡	ヤマハ TZ125	SP忠男レーシングチーム		
5	B	高尾 和弘 KAZUHIRO TAKAO	30	愛知	ホンダ RS125R	カストロール TEAMハルクプロ		
6	A	藤岡 祐三 YŪZŌ FUJIOKA	25	愛媛	ホンダ RS125R	M'-PROJECT		
7	B	稲毛田 潤 JUN INAGEDA	31	神奈川県	ホンダ RS125R	TUBER&Ablecom.		
8	A	酒井 大作 DAISAKU SAKAI	16	大阪	ホンダ RS125R	テクノギルドRTカワゼン		
9	B	小野 真央 MASAFUMI ONO	25	栃木	ホンダ RS125R	カストロール TEAMハルクプロ		
10	A	仲城 英幸 HIDEAKI NAKAJŌ	29	奈良	ホンダ RS125R	Jhaレーシング		
12	B	井手 敏男 TOSHIO ITE	27	大阪	ホンダ RS125R	チームウイリー		
13	A	上江洲 克次 KATSUJI UEZU	23	愛知	ヤマハ TZ125	TEAM伸興通産JRRacing		
14	B	菅谷 慎一 SHIN'ICHI SUGAYA	25	東京	ホンダ RS125R	チームフジワラBP		
15	A	岡田 純一 JUN'ICHI OKADA	23	京都	ホンダ RS125R	Jhaレーシング		
16	B	鶴飼 孝徳 TAKANORI UKAI	28	三重	ホンダ RS125R	☆OZ☆RTドラステック&ニワ		
17	A	久保 和寛 KAZUHIRO KUBO	26	大阪	ヤマハ TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ		
18	B	天野 邦博 KUNIHICO AMANO	28	東京	ホンダ RS125R	ライダーズサロン横浜・BP		
19	A	依田 裕章 HIROAKI YODA	26	神奈川県	ホンダ RS125R	TUBER&Ablecom'		
20	B	中村 実 MINORU NAKAMURA	26	宮城	ホンダ RS125R	TOYO.TOWNS&TJC		
21	A	笹島 義久 YOSHIIHISA SASAJIMA	30	神奈川県	ホンダ RS125R	TUBER&Ablecom.		
24	B	永田 健二 KENJI NAGATA	28	三重	ホンダ RS125R	HARC-PRO&AZUMA		
25	A	山下 祐 YŪ YAMASHITA	30	神奈川県	ヤマハ TZ125	ミクニ・クラブペンティスRP		
26	B	伊東 哲 SATOSHI ITŌ	30	東京	ホンダ RS125R	FineRacing		
27	A	早原 邦顕 KUNIAKI HAYAHARA	28	三重	ヤマハ TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ		
28	B	加藤 徹 TŌRU KATŌ	24	大阪	ホンダ RS125R	昭和電機レーシングチーム		
30	A	大橋 賢 KEN ŌHASHI	24	東京	ホンダ RS125R	チーム オートスタジオスキル		
31	B	東 敬太 KEITA HIGASHI	32	東京	ホンダ RS125R	TUBER&Ablecom'		
32	A	松永 弘志 HIROSHI MATSUNAGA	24	千葉	ホンダ RS125R	テクニカルスピード&里の曙		
33	B	上野 秀昭 HIDEAKI UENO	31	愛知	ホンダ RS125R	ガレージウエノ&RSALレーザース		
34	A	渡部 伸 SHIN WATANABE	27	埼玉	ホンダ RS125R	ホンダ ブルーヘルメットMSC		
37	B	安那 宏昌 HIROMASA YASUNA	27	広島	ホンダ RS125R	わんぱくこぞう&SPIRIT SPORTS		
39	A	川瀬 誠 MAKOTO KAWASE	25	神奈川県	ホンダ RS125R	テクニカルスピード		
40	B	横江 竜司 RYŪJI YOKOE	20	宮城	ヤマハ TZ125	SP忠男レーシングチーム		
41	A	山田 実 MINORU YAMADA	32	千葉	ホンダ RS125R	FineRacing		
42	B	大石 義次 YOSHITSUGU ŌISHI	27	東京	ヤマハ TZ125	EAST CORE ヤマハ		
43	A	古橋 徹 TŌRU FURUHASHI	25	埼玉	ホンダ RS125R	アリス・レーシングプロジェクト		
44	B	熊谷 孝 TAKASHI KUMAGAI	24	京都	ヤマハ TZ125	TEAM伸興通産JRRacing		
45	A	田代 克尚 KATSUHISA TASHIRO	25	宮崎	ホンダ RS125R	Life&RHEOS.SS		
46	B	豫風 直人 NAOTO YOFU	26	大阪	ホンダ RS125R	BadBoyRT MAXIMA		
47	A	大藤 道雄 MICHIO ŌTŌ	25	三重	ヤマハ TZ125	モトスペース ヤマハ		
48	B	久保田 忍 SHINOBU KUBOTA	28	埼玉	ホンダ RS125R	M'PROJECTモトクラッチ		
49	A	岩田 吉正 YOSHIMASA IWATA	33	三重	ホンダ RS125R	Team BATTLE		
50	B	岡野 太郎 TARŌ OKANO	26	愛知	ホンダ RS125R	Team高阪&JFAS, TH		
51	A	吉田 忠幸 TADAYUKI YOSHIDA	25	三重	ヤマハ TZ125	TEAM伸興通産JRRacing		
52	B	鈴木 健弘 TAKEHIRO SUZUKI	29	三重	ホンダ RS125R	MOTO STEPRT BP		
53	A	加藤 直樹 NAOKI KATŌ	26	東京	ホンダ RS125R	Jhaレーシング		
54	B	魚谷 貴康 TAKAYASU UOTANI	25	大阪	ホンダ RS125R	αCMaシリウスレーシング		
55	A	山内 聡司 SŌJI YAMAUCHI	26	大阪	ホンダ RS125R	ガレージウエノ&RSALレーザース		
56	B	熊野 光男 MITSUO KUMANO	23	神奈川県	ホンダ RS125R	Dinky&Able com.		
57	A	西川 勇一 YŪICHI NISHIKAWA	26	滋賀	ホンダ RS125R	スクーデリアオクムラ&ECHO		
58	B	高田 孝慈 KŌJI TAKADA	35	三重	ホンダ RS125R	TEAM竹島 KアンドT		

参加台数100台 決勝出走台数44台
決勝スタート 10:40 15周

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	予選 順位	決勝 順位
59	A	篠田 英博 HIDEHIRO SHINODA	27	三重	ホンダ RS125R	爽風会鈴鹿レーシングチーム		
60	B	久山 綾一 RYŌICHI KUYAMA	26	栃木	ホンダ RS125R	オートテクニック スポーツ		
61	A	鈴木 健 KEN SUZUKI	27	埼玉	ヤマハ TZ125	ブレイメイト レーシング 東京		
62	B	蔡 鐘浩 KANEHIRO SAI	27	岐阜	ホンダ RS125R	ASB&MOTUL&仁川木工		
63	A	深井 一城 KAZUSHIRO FUKAI	30	神奈川	ホンダ RS125R	モトアルファ&大洗サーキット		
64	B	小磯 栄 SAKAE KOISO	29	茨城	ホンダ RS125R	モトアルファ&大洗サーキット		
65	A	城戸 謙二 KENJI KIDO	21	埼玉	ホンダ RS125R	HARC-PRO&AZUMA		
66	B	小山 太一 TAICHI KOYAMA	26	大阪	ホンダ RS125R			
67	A	中村 信夫 NOBUO NAKAMURA	27	愛知	ホンダ RS125R	RSサワダ		
68	B	羽原 繁 SHIGERU HABARA	24	香川	ホンダ RS125R	チーム フジワラ BP		
69	A	加藤 崇 TAKASHI KATŌ	27	大阪	ホンダ RS125R	昭和電機レーシングチーム		
70	B	中島 洋一 YŌICHI NAKAJIMA	25	滋賀	ホンダ RS125R	横井 エンジニアリング		
71	A	今野 由寛 YOSHIHIRO KONNO	17	千葉	ホンダ RS125R	M'-PROJECT桶川塾		
72	B	深沢 忠昭 TADAOKI FUKASAWA	26	山梨	ホンダ RS125R	アリス・レーシングプロジェクト		
73	A	岩瀬 泰浩 YASUHIRO IWASE	28	東京	ホンダ RS125R	アリス・レーシングプロジェクト		
74	B	寺林 拓実 TAKUMI TERABAYASHI	29	東京	ホンダ RS125R	アリス・レーシングプロジェクト		
75	A	大滝 輝彦 TERUHIKO ŌTAKI	28	東京	ホンダ RS125R	アリス・レーシングプロジェクト		
76	B	天野 茂生 SHIGEO AMANO	26	京都	ヤマハ TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ		
77	A	松井 剛 TSUYOSHI MATSUI	29	東京	ホンダ RS125R	M-TUNERacing		
78	B	山崎 敏夫 TOSHIO YAMASAKI	30	千葉	ホンダ RS125R	M-TUNERacing		
79	A	須田 修 OSAMU SUDA	23	北海道	ホンダ RS125R	ナカタレーシング・キタミ		
80	B	高津 克明 KATSUAKI TAKATSU	24	愛知	ヤマハ TZ125	ヤマハ RTクウォリティ		
81	A	竹内 啓之 HIROYUKI TAKEUCHI	23	岡山	ヤマハ TZ125	YSP津山レーシング		
82	B	加藤 強 TSUYOSHI KATŌ	29	愛知	ホンダ RS125R	TSR		
83	A	古澤 基樹 MOTOKI FURUSAWA	27	三重	ホンダ RS125R	NALTY'S		
84	B	大西 実 MINORU ŌNISHI	26	大阪	ホンダ RS125R	TEAM ばわあくらふと		
85	A	田中 明雄 AKIO TANAKA	17	福岡	ホンダ RS125R	Team Life &RHEOS		
86	B	大沢 仁人 HITONDO ŌSAWA	25		ヤマハ TZ125	Team YSP 町田中央		
87	A	秋谷 守 MAMORU AKIYA	24	三重	ホンダ RS125R	TEAM MONZAKI		
88	B	植田 智広 TOMOHIRO UEDA	24	福岡	ホンダ RS125R	Team Life・RHEOS		
89	A	中澤 信幸 NOBUYUKI NAKAZAWA	24	埼玉	ホンダ RS125R	H.グラマー&エンデュランス		
90	B	清成 龍一 RYŪICHI KIYONARI	14	埼玉	ホンダ RS125R	TEAM-SRS-J		
91	A	渡辺 裕司 YŪJI WATANABE	30	神奈川	ホンダ RS125R	Dinky&Able com.		
92	B	葛原 稔永 TOSHIHISA KUZUHARA	18	徳島	ホンダ RS125R	TeamSRS-J		
93	A	大和屋 勝也 KATSUYA YAMATOYA	24	大阪	ホンダ RS125R	GEN'S RACING		
94	B	上木 聡 SATOSHI UEKI	28	大阪	ホンダ RS125R	TEAM 竹島 KアンドT		
95	A	山下 一彰 KAZUAKI YAMASHITA	34	静岡	ホンダ RS125R	TEAM MSナカミチ		
96	B	松浦 光利 MITSUTOSHI MATSUURA	27	奈良	ヤマハ TZ125	YSP津山レーシング		
97	A	白石 貴之 TAKAYUKI SHIRAIISHI	25	大阪	ホンダ RS125R	リアライズレーシング		
98	B	山本 武宏 TAKEHIRO YAMAMOTO	32	和歌山	ホンダ RS125R	白浜海洋センター&フジワラ98		
99	A	浦 英樹 HIDEKI URA	30	千葉	ホンダ RS125R	Team 舩斗雲		
100	B	宮崎 努 TSUTOMU MIYAZAKI	26	高知	ホンダ RS125R	チームフジワラBP		
101	A	今井 義昭 YOSHIAKI IMAI	28	大阪	ホンダ RS125R	Gen's R&新撰組義昭R		
103	B	片平 光浩 MITSUHIRO KATAHIRA	34	千葉	ホンダ RS125R	舩斗雲&FINE&五十歩百歩		
104	A	荒川 智樹 TOMOKI ARAKAWA	25	三重	ホンダ RS125R	爽風会 鈴鹿レーシングチーム		
105	B	宮川 明和 AKIKAZU MIYAGAWA	28	東京	ホンダ RS125R	ファイヤーガレージ&宮川建設(株)		
106	A	中田 健二 KENJI NAKATA	30	奈良	ホンダ RS125R	BADBOYRT MAXIMA		
111	B	川筋 丈徳 TAKENORI KAWASUJI	26	大阪	ホンダ RS125R	[ivalv] とT's		
112	A	埜田 健太郎 KENTARŌ NODA	26	大阪	ホンダ RS125R	チームウイリー三和総合サービス		
113	B	星野 知也 TOMOYA HOSHINO	25	神奈川	ホンダ RS125R	テクニカルスピード by TRD		

ENTRY LIST

NK4

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	予選 順位	決勝 順位
1	A	辻野 裕司 YŪJI TSUJINO	27	大阪	ホンダ CB400SF	TEAMヘッドハンター		
2	B	橋本 充巧 ATSUYOSHI HASHIMOTO	24	奈良	ホンダ CB400SF	レーシングチーム ハニービー		
3	A	西沢 頼 TANOMU NISHIZAWA	31	大阪	ホンダ CB400SF	才谷屋TEAMヘッドハンター		
4	B	三島 剛 TSUYOSHI MISHIMA	28	兵庫	ホンダ CB400SF	MOTO WIN RACING		
5	A	鈴木 慎吾 SHINGO SUZUKI	27	大阪	ホンダ CB400SF	MOTO WIN&テラオカR.		
6	B	松川 文彦 FUMIHIKO MATSUKAWA	26	兵庫	ホンダ CB400SF	パブリック&レーシングワールド		
7	A	飯田 康之 YASUYUKI IIDA	28	愛知	ホンダ CB400SF	IMR&オートランドビーグル		
8	B	金山 和弘 KAZUHIRO KANAYAMA	45	静岡	ホンダ CB400SF	RT・Fロード&(株)橋本組		
9	A	金山 元樹 GENKI KANAYAMA	17	静岡	ホンダ CB400SF	SRS-J&(株)橋本組		
10	B	三井 晋一郎 SHIN'ICHIRO MITSUI	21	大阪	ホンダ CB400SF	MOTO WIN RACING		
11	A	赤木 淳也 JUN'YA AKAGI	28	大阪	ホンダ CB400SF	MOTO WIN RACING		
12	B	高木 貴司 TAKASHI TAKAGI	30	兵庫	ホンダ CB400SF	LIGHT・HIP&YACCO		
13	A	山本 昌秀 MASAHIDE YAMAMOTO	24	大阪	ホンダ CB400SF	RTモトショップドリームNRF		
14	B	石本 龍治 RYŪJI ISHIMOTO	30	奈良	カワサキ ZRX	B-SQUARE&Jay'RT		
15	A	長谷川 雅重 MASASHIGE HASEGAWA	27	埼玉	ホンダ CB400SF	レーシングチーム ハニービー		
16	B	平林 重雄 SHIGEO HIRABAYASHI	25	愛知	ホンダ CB400SF	ダイム レーシング		
17	A	丹生 務 TSUTOMU NYŪ	28	三重	ホンダ CB400SF	ノイズRT・イケダ自転車KDC		
18	B	吉岡 トヲル TŌRU YOSHIOKA	25	大阪	ホンダ CB400SF	シークレット・スピード!!!		
19	A	川上 智彦 TOMOHIKO KAWAKAMI	24	滋賀	ヤマハ FZ400	TEAM モトスポーツ&鈴寛		
20	B	目黒 克也 KATSUYA MEGURO	33	北海道	スズキ BANDIT	Z: ALL&VEGASPORT		
21	A	浅見 良和 YOSHIKAZU ASAMI	32	北海道	スズキ BANDIT	Z: ALL&VEGASPORT		
22	B	稲垣 徹 TŌRU INAGAKI	23	三重	ホンダ CB400SF	アケノスピード		
23	A	桂川 公男 KIMIO KATSURAGAWA	49	愛知	ホンダ CB400SF	チームカツラガワ モトブラスト		
24	B	向山 将弘 MASAHIRO MUKŌYAMA	28	愛知	ホンダ CB400SF	チームカツラガワ&シンセツ		
25	A	高橋 洋之 HIROYUKI TAKAHASHI	35	京都	ホンダ CB400SF	シンセツレーシング&カツラガワ		
26	B	大塚 芳弘 YOSHIHIRO ŌTSUKA	34	三重	ホンダ CB400SF	ダイム レーシング		
27	A	岡田 仁 HITOSHI OKADA	24	大阪	ホンダ CB400SF	NRF☆モトショップドリーム		
28	B	立秋 幸治 KŌJI TATEAKI	32	大阪	ホンダ CB400SF	モトスクラムアイライン&立秋M		
29	A	岡元 慶宏 YOSHIHIRO OKAMOTO	24	岐阜	ホンダ CB400SF	ダイム レーシング		
30	B	末宗 佐登司 SATOSHI SUJEMUNE	24	奈良	ホンダ CB400SF			
31	A	小島 泰之 YASUYUKI KOJIMA	33	愛知	ホンダ CB400SF	Team BATTLE		
32	B	黒田 けんじ KENJI KURODA	26	三重	ホンダ CB400SF	KDCサービス! LVR		
33	A	池田 寛之 HIROYUKI IKEDA	24	大阪	スズキ GSX400インパルス	EYE・LINE		
34	B	前田 洋三 YŌZŌ MAEDA	34	大阪	ホンダ CB400SF	KDCサービス&金融屋		
35	A	辻 貴幸 TAKAYUKI TSUJI	31	京都	ホンダ CB400SF	TEAM インプス		
36	B	潮崎 雄一 YŪICHI SHIOZAKI	29	和歌山	ホンダ CB400SF	ガレージシオザキオートサービス		
37	A	小倉 忠明 TADAOKI OGURA	24	大阪	ホンダ CB400SF	レーシング サービス みつばち		
38	B	平野 敏明 TOSHIKI HIRANO	27	静岡	ホンダ CB400SF	ワールドカワグチRT		
39	A	新井 基寛 MOTOHIRO ARAI	33	京都	ホンダ CB400SF	エトスデザイン&RSMaeda		
40	B	上山 勝司 KATSUSHI UYEMAMA	33	大阪	カワサキ ZRX	BSレイ♪ WITHボチ		
41	A	加藤 幸二 KŌJI KATŌ	26	静岡	ホンダ CB400SF	RT F・ロード&橋本組		
42	B	森本 剛 TAKESHI MORIMOTO	32	滋賀	ホンダ CB400SF	何言う天然記念物		
43	A	天井 俊明 TOSHIKI AMAI	29	大阪	ホンダ CB400SF	EYELINE立秋Mモトスクラム		
44	B	檜垣 誠 MAKOTO HIGAKI	27	滋賀	カワサキ ZEPHYR	P'sサブライ		
45	A	粒来 広 HIROSHI TSUBURAI	28	静岡	スズキ GSX400インパルス	タキオンRF		
46	B	間宮 明 AKIRA MAMIYA	29	三重	カワサキ ZRX	T.BRST&RSオオワキ		
47	A	内田 裕二 YŪJI UCHIDA	29	岐阜	ホンダ CB-1	R.C.のりもの		
48	B	藤谷 日登史 HITOSHI FUJITANI	30	大阪	ホンダ CB400SF	666Riders&バイレーツ		
49	A	服部 秀明 HIDEAKI HATTORI	28	愛知	ホンダ CB400SF	B&W KATO RT		
50	B	中村 浩明 HIROAKI NAKAMURA	35	広島	ヤマハ FZ400	SP志男広島RT&BP		
51	A	井上 勝盛 KATSUMORI INOUE	26	兵庫	カワサキ ZRX	B-SQUARE&JAY		
52	B	菅原 豊 YUTAKA SUGAWARA	25	兵庫	ホンダ CB400SF	You西明石レーシングチーム		
53	A	橋野 善信 YOSHINOBU HASHINO	31	兵庫	ホンダ CB400SF	RC・DEFEATベルクラブ		
54	B	西村 実佐郎 MISAO NISHIMURA	24	大阪	ホンダ CB400SF	RSK&GARフィールド BP		
55	A	玉巻 伸隆 NOBUTAKA TAMAMAKI	29	大阪	ヤマハ XJR400	ファンキーメイトRT&ONRF		

参加台数110台 決勝出走台数48台
決勝スタート 16:15 10周

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	予選 順位	決勝 順位
56	B	横地 直樹 NAOKI YOKOCHI	25	岐 阜	ホンダ CB400SF			
57	A	長田 浩 HIROSHI OSADA	34	静 岡	スズキ GSX400インパルス	タキオンレーシングファクトリー		
58	B	西尾 聡 SATOSHI NISHIO	29	大 阪	ホンダ CB400SF	チームパブリック		
59	A	中村 信夫 NOBUO NAKAMURA	18	大 阪	ホンダ CB400SF	OVER・de' LIGHT		
60	B	花井 繁哉 SHIGECHIKA HANAI	29	奈 良	カワサキ ZRX	BEET CLUB		
61	A	中村 泰 YASUSHI NAKAMURA	26	兵 庫	カワサキ ZRX	Team38		
62	B	山戸 直樹 NAOKI YAMATO	25	兵 庫	カワサキ ZRX	Team38		
63	A	武藤 克行 KATSUYUKI MUTŌ	21	三 重	ホンダ CB400SF	advance&横井ENG		
64	B	松原 信也 NOBUYA MATSUBARA	24	大 阪	ホンダ CB400SF			
65	A	南川 浩司 KŌJI MINAMIKAWA	27	滋 賀	ホンダ CB-1	P's SUPPIY		
66	B	遠藤 哲也 TETSUYA ENDŌ	30	滋 賀	ホンダ CB400SF	滋賀・守山・ディーラーズRT		
67	A	吉田 一仁 KAZUHIRO YOSHIDA	29	三 重	ホンダ CB400SF	KDCサービス&モリワキC!		
68	B	中谷 健一 KEN'ICHI NAKATANI	27	大 阪	ホンダ CB400SF	アライン&モトスクラム立秋M		
69	A	水田 孝治 KŌJI MIZUTANI	27	大 阪	ホンダ CB400SF	TEAM・S・A・K		
70	B	瀬野 宏 HIROSHI SENO	31	兵 庫	ホンダ CB400SF	LIGHT・HIP&YACCO		
71	A	金城 慶一郎 KEIICHIRO KINJŌ	22	愛 知	ヤマハ FZ400	JPMレーシングチーム		
72	B	久積 基宏 MOTOHIRO HISAZUMI	28	奈 良	ホンダ CB400SF	Team KO'S		
73	A	宇都 敏明 TOSHIKI UTO	27	大 阪	ホンダ CB400SF	レーシングチーム熊坂アライン		
74	B	二階堂 秀彦 HIDEHIKO NIKAI DŌ	24	兵 庫	ホンダ CB400SF	レーシングチーム熊坂アライン		
75	A	水上 禎史 TADASHI MIZUKAMI	34	愛 知	ホンダ CB400SF	蔵次レーシング&シルクロード!		
76	B	宮津 彰 AKIRA MIYAZU	28	兵 庫	ホンダ CB400SF	平和ホンダ&AutoMacRT		
77	A	石田 徹 TŌRU ISHIDA	28	兵 庫	ホンダ CB400SF	平和ホンダ&AutoMacRT		
78	A	伊藤 誠宣 MASANOBU ITO	33	愛 知	ホンダ CB400SF	HOT&COOL・PLATZ		
79	A	中井 貴之 TAKASHI NAKAI	30	京 都	カワサキ ZRX	山科カワサキKENRACING		
80	B	吉村 友伸 TOMONOBU YOSHIMURA	25	奈 良	ホンダ CB400SF	光栄商会+やんちゃ丸&Boxy		
81	A	稲垣 剛 TSUYOSHI INAGAKI	31	愛 知	ホンダ CB400SF	OVER LAP 306		
82	B	西尾 成広 NARIHIRO NISHIO	24	兵 庫	ホンダ CB400SF	オートファミリーレーシングチーム		
83	A	鈴木 康弘 YASUHIRO SUZUKI	37	静 岡	ホンダ CB400SF	RTエフロード・(株)橋本組		
84	B	森 健二 KENJI MORI	23	兵 庫	ホンダ CB400SF	LIGHT・HIP&YACCO		
85	A	岡本 健一 KEN'ICHI OKAMOTO	25	愛 知	ホンダ CB400SF	TEAM たけふみ&花火		
86	B	渡辺 淳也 JUN'YA WATANABE	25	大 阪	スズキ GSX400インパルス	R・T HUMANGAS		
87	A	坂田 博敏 HIROTOSHI SAKATA	28	愛 知	ホンダ CB400SF	RC-ITOH・KENKI		
88	B	伊藤 和久 KAZUHISA ITO	33	静 岡	ホンダ CB400SF	F.C.C.TEAMマヨネーズ		
89	A	松下 浩二 KŌJI MATSUSHITA	22	愛 知	ホンダ CB400SF			
90	B	芹澤 宏昌 HIROAKI SERIZAWA	23	静 岡	ホンダ CB400SF	ワールド カワグチ RT		
91	A	河原林 猛 TAKESHI KAWARABAYASHI	25	滋 賀	ホンダ CB400SF	H-G大津P+KENレーシング		
92	B	中村 浩 HIROSHI NAKAMURA	33	大 阪	ホンダ CB400SF	HATS・レーシングチーム		
93	A	西本 武生 TAKEO NISHIMOTO	28	奈 良	ホンダ CB400SF	TEAM LOCUS		
94	B	細野 賢次 KENJI HOSONO	28	東 京	スズキ BANDIT	TEAM・EBATA		
95	A	辻本 貴志 TAKASHI TSUJIMOTO	26	大 阪	ホンダ CB400SF	アゲインレーシングクラブ		
96	B	渡辺 公也 MASAYA WATANABE	27	三 重	ホンダ CB400SF	R.ZENON&KOZU		
97	A	門杉 広史 HIROSHI KADOSUGI	25	大 阪	ホンダ CB-1	MOTO WIN RACING		
98	B	篠 和也 KAZUYA SHINO	21	三 重	ホンダ CB400SF	advance&横井ENG		
99	A	三浦 和男 KAZUO MIURA	28	愛 知	ホンダ CB400SF	R.C.のりもの		
100	B	西良 英之 HIDEYUKI SAIRYŌ	32	兵 庫	ホンダ CB400SF	RC・DEFEAT&SDW		
101	A	倉本 正幸 MASAYUKI KURAMOTO	31	愛 知	ホンダ CB400SF	チームAS.ウイング&P's		
102	B	酒井 靖夫 YASUO SAKAI	28	静 岡	ホンダ CB400SF	F.C.C.TEAMマヨネーズ		
103	A	高津 大輔 DAISUKE KŌZU	20	大 阪	ホンダ CB400SF	追手門学院大学WILDCATS		
104	B	松下 典史 NORIFUMI MATSUSHITA	22	大 阪	ホンダ CB400SF	大阪産業大学		
105	A	鳥居 義之 YOSHIYUKI TORII	21	大 阪	スズキ GSX400インパルス	大阪産業大学八尾カワサキ藤井寺		
106	B	井口 信昭 NOBUAKI IGUCHI	28	兵 庫	ホンダ CB400SF	TEAM TURN☆OVER		
107	A	杉野 浩二 KŌJI SUGINO	28	大 阪	ホンダ CB-1	SBS ファンキーメイトRT		
108	B	池田 誠 MAKOTO IKEDA	20	大 阪	ヤマハ FZ400	追手門学院大学WILDCATS		
109	A	山下 大志 DAISHI YAMASHITA	27	滋 賀	スズキ GSX400インパルス			
110	B	岩谷 芳成 YOSHINARI IWATANI	23	愛 知	ホンダ CB400SF	JPM&上村内装&井上美装!!		

RFC ROAD RACE FAN CLUB

全日本ロードレース選手権シリーズをファンが一体になって盛り上げながら、全日本ライダーとコミュニケーションしたり、サーキットライフも思いっきり楽しんでもらおうというのが、RFCロードレースファンクラブのコンセプト。MFJプロモーション実行委員会が運営主体となり、全日本ロード開催6サーキット、2輪メーカー4社、国際ライダーの統括団体であるRMA選手会、そしてライダーたちが一体となって盛り上げようとしているから、全日本ロードをもっと楽しむための特典が満載!!

RFC入会方法

●RFC年会費(入会金不要)

RFC特別会員/30,000円(限定200名)

RFC一般会員/4,000円

●申込方法

(1)RFC事務局へ電話・FAX・E-mail等で申込書を請求して下さい(料金不要)。申込書到着後、上記年会費の払込と申込書の送付とを同時に行なって下さい。年会費の払込を確認次第入会を受理し会員カードを発行します。

(2)全日本ロードレース選手権シリーズ全戦他にて設置されるRFCロードレースファンクラブのブースでも入会手続きが可能です。この場合、入会したその場でカードの発行を行ないますので、入会と同時に特典が受けられます。
※特別会員は限定数が決まっています。お申し込みの際はRFC事務局にお問い合わせ下さい。

●申込・お問い合わせ先

RFC事務局(アバンテック ジャパン,INC.内)

名古屋市中区則武新町4-4-19 SG名古屋駅ビル5F 〒451-0051

TEL.052-565-0501 FAX.052-565-0502

E-mail / kentmild@po.iijnet.or.jp

全日本ロードの各サーキット 特設RFCブースで入会受付中!

RFCブースは、各サーキットのグランドスタンド入口付近にあります。

1998全日本ロードレース選手権シリーズ 大会スケジュール

4/12 第1戦 ツインリンクもてぎ	9/06 第6戦 鈴鹿サーキット
4/26 第2戦 スポーツランドSUGO	9/20 第7戦 筑波サーキット
5/17 第3戦 筑波サーキット	10/18 第8戦 TIサーキット英田
5/31 第4戦 鈴鹿サーキット	11/01 第9戦 スポーツランドSUGO
8/09 第5戦 CP MINÉサーキット	

RFC特別会員(限定200名)の特典

1998年全日本選手権シリーズ全戦共通パス発行

(パドックエリアまで入場がパス1枚でOK) ※世界選手権は無効

特別会員にのみ発行されるスペシャルメンバーズカードで、1998年全日本ロードレース選手権シリーズ全戦において、このカードを提示すれば、一部エリアを除いて観戦およびパドックの決められたエリアまでフリーパスとなります。

RFC一般会員の特典

1998年全日本ロードレース選手権シリーズで

観戦戦券が当日料金の50%OFF!!

パドックパスが当日料金の10%OFF!!

で購入可能!! ※当日料金からの割引です。

RFC特別会員・一般会員共通の特典

1998年全日本ロードレース選手権シリーズで

ピットウォークが無料参加!!

※全日本ロードレース選手権で開催するサーキットのみ

1998年世界選手権シリーズの各日本大会で

観戦戦券が当日料金の30%OFF!!

で購入可能!! ※当日料金からの割引です。

前売観戦戦券・パドックパス等割引!!

RFCその他の特典

1998年全日本ロードレース選手権シリーズで 1998年世界選手権シリーズの各日本大会で

イベント、宿泊パック等に優待割引!!

1998 世界選手権 シリーズ 日本大会	7月23~26日 鈴鹿サーキット 98FIM世界耐久選手権シリーズ第4戦「鈴鹿8時間耐久ロードレース」 10月3・4日 スポーツランドSUGO 98スーパーバイク世界選手権シリーズ第13戦「SUGOスーパーバイク世界選手権レース」
-------------------------------	--

※特典の内容については変更される場合がありますのでご了承ください。
※特典の内容の詳細については、RFC事務局までお問い合わせください。



国内唯一のロードレース専門誌

CYCLE SOUNDS

EXCITING
ROADSPORTS
MAGAZINE

ロードレースの
熱いシーン満載!



速報!

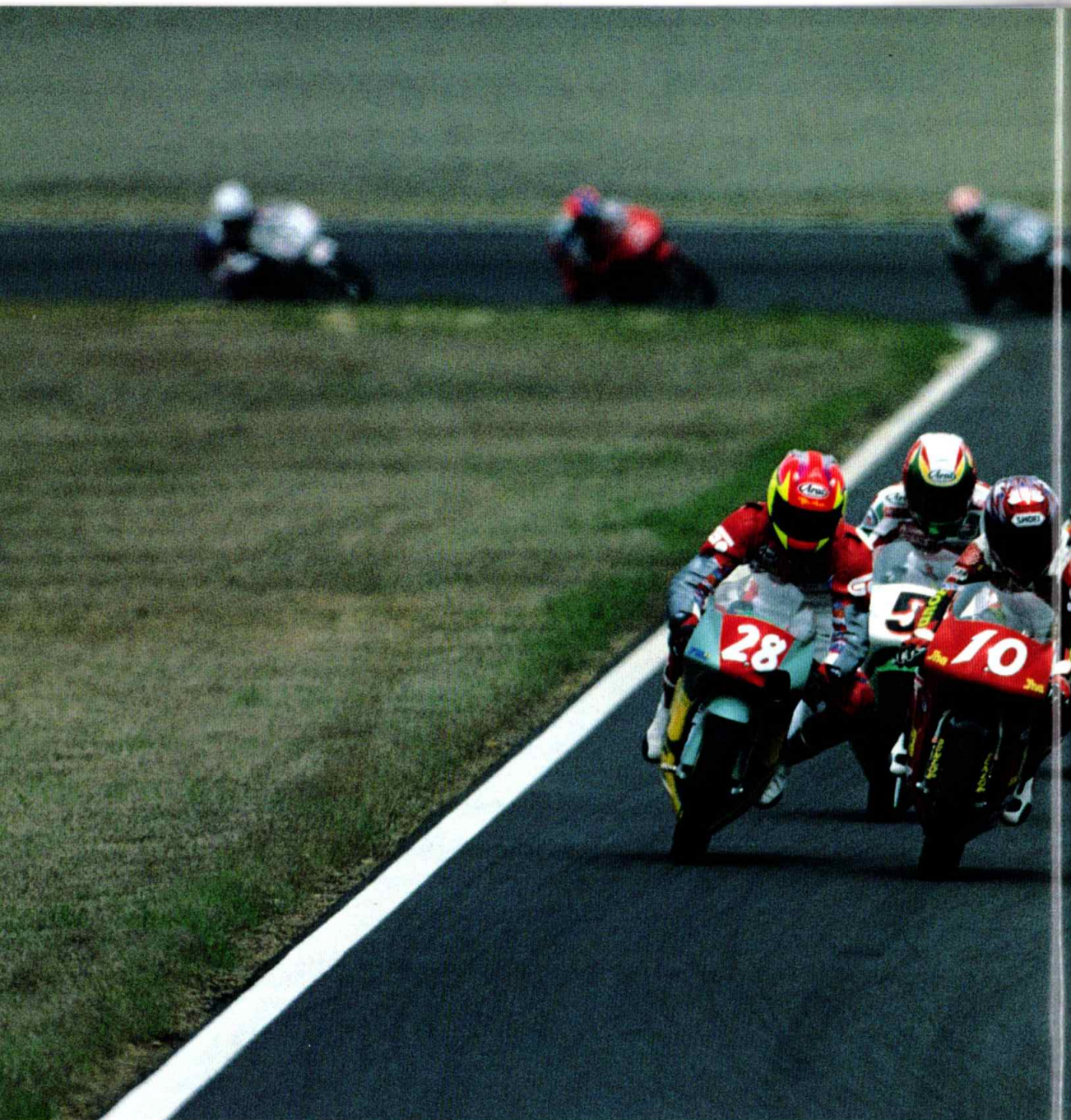
WGP第4戦イタリア
全日本第3戦筑波

このレースは8月号(7月1日発売)に掲載します。

サイクルサウンズ7月号は6月1日発売です。 定価580円(税込)

編集・発行 (株)ジック・CSルーム ☎03(5570)8581 / 発売 (株)山海堂 ☎03(3816)1617

GP125



今年もまた大混戦!! 果たして抜け出すのは誰か? START 10:40 15周

毎年、渾沌とした戦いとなる激戦の全日本GP125。そして今季も、その激しさは変わっていない。開幕戦ツインリンクもてぎでは、40台がグリッドに並び、チェッカーを受けたのは、23台というサバイバルレースとなった。予選から好調な走りをみせていたのは藤岡祐三。だが、レースを制したのは、約1年ぶりの優勝となった仲城英幸。2位には高尾和弘とベテラン勢が上位に顔

を出した。3位には、久保和寛が急成長を見せ食い込む。97年のチャンピオンを獲得した秋田貴志は転倒。ランキング2位の菊池寛幸は、予選中の転倒でレースをキャンセル。緒戦から、荒れに荒れたレースとなる。

第2戦SUGOの事前のテストで秋田はケガをしてしまいレースは不出場。そのSUGOでポールポジションを獲得したのは井出敏男。しかし、決勝はウエットレース

となり、その難しい路面を攻めに攻めた中村実が、初表彰台の初優勝を飾った。2位には仲城。3位には初表彰台となった加藤徹。

ここまで、安定した力を示しているのが仲城だ。仲城は、ワイルドカードで参戦したマールボロGPで、上田昇や坂田和人とバトルしたことで、再び「世界GP参戦への気持ちが大きくなった」と言う。その夢を、もう一度叶えるためにも、タイトルが欲しいところ。だが、力を読み切れないライバルが、無数にいるのがこのクラスの特徴。2連勝した中村実や高尾和弘、藤岡祐三、上江洲克次といった実力者や久保和寛らの力も侮れない。第4戦鈴鹿も接近戦は必至だ。

GP125 第3戦終了時点でのランキング トップ6

順位	セクン/ライダー名	チーム名/マシン名	合計	第1戦もてぎ	第2戦SUGO	第3戦筑波
1	⑩仲城 英幸	Jhaレーシング ホンダRSR	54	20	17	17
2	⑧中村 実	TOYO.TOWNS&TJC ホンダRSR	40	-	20	20
3	④山田 実	Fine Racing ホンダRSR	36	13	10	13
4	⑦久保 和寛	HITMAN RC甲子園ヤマハ ヤマハTZ	30	15	-	15
5	⑬上江洲克次	TEAM仲興通産JRacing ヤマハTZ	21	9	11	1
6	④横江 竜司	SP忠男レーシングチーム ヤマハTZ	18	5	13	-



ライダープロフィール



秋田 貴志
TAKASHI AKITA

93年スーパーカップイースタンGP125チャンピオン。94年から全日本参戦開始。96年ランキング17位。97年はチームを移籍、マシンもTZに乗り換えて、一気にチャンピオン獲得。今季はV2を目指す。開幕戦は、惜しくもノーポイント。第2戦SUGOの事前テストでのケガが心配されているが、走りだせば、チャンピオンの意地を見せてくれるはず。

Hometown: Kanagawa
Birthdate: February.2.1974
1998 Team: TEAM 仲興通産 J Racing
Machine: YAMAHA TZ125

1



仲城 秀幸
HIDEYUKI NAKAJŌ

92年全日本GP125ランキング3位。93年同2位とチャンピオン争いを繰り広げ、94年から世界GPの125ccクラスに参戦、ランキング11位を獲得。95年には9位と躍進するが、96年は全日本に戻り、GP125クラス2位となる。97年は凶車が合わずランキング10位。今季は、開幕勝利、第2戦2位と勢いを取り戻し第3戦終了時でランキングトップに立つ。

Hometown: Nara
Birthdate: September.6.1968
1998 Team: Jhaレーシング
Machine: HONDA RS125R

10



久保 和寛
KAZUHIRO KUBO

昨年チームを移籍し、同時にマシンもヤマハTZへとスイッチした。昨シーズン後半から、98年型TZを手にし、いち早くそのポテンシャルを自分のものとする、今年は開幕戦ツインリンクもてぎで3位表彰台を獲得。第2戦SUGOはノーポイントに終わるが、第3戦筑波では再び3位に入り、本来の実力を示しつつある。

Hometown: Kyoto
Birthdate: September.2.1971
1998 Team: HITMAN RC甲子園ヤマハ
Machine: YAMAHA TZ125

17



中村 実
MINORU NAKAMURA

95年から、SUGOや筑波でレース活動を開始。全日本フル参戦は97年からで、予選では上位に顔を出すこともあったが、決勝では結果を残すことができなかった。開幕戦ツインリンクもてぎでも予選3位を獲得しながら、決勝では転倒。しかし、第2戦SUGOではブレイクし、初優勝。そして勢いは止まらず、第3戦でも優勝している。

Hometown: Tokyo
Birthdate: July.9.1971
1998 Team: TOYO.TOWNS&TJC
Machine: HONDA RS125R

20



息もつがせぬスプリント！
大迫力の超接近戦。



JTCC SUZUKA SUPER TOURING

全日本ツーリングカー選手権シリーズ第4大会 JTCC 鈴鹿スーパーツーリング

6/20SAT (公式予選)・21SUN (決勝)

東コース
で開催!!

1日2レース、インバートグリッドで大混戦

[同日開催]

■マツダユーノスロードスターレース ■カローラ/スプリンターノーマルカップレースシリーズ第3戦 ■ミラージュ・インターナショナル・ラリーアートカップ・シリーズ第3戦

前売り券好評発売中

■前売り観戦券(2日間有効・税込み) 大人: **5,000円** 女性: **3,200円** 高校生: **1,600円**

■決勝当日券(決勝日有効・税込み) 大人: **6,000円** 女性: **4,000円** 高校生: **2,000円**

※3才~中学生の方は遊園地入園料(3才~未就学児400円、小・中学生800円)で自由席にてご観戦いただけます

■指定席券(決勝日有効・3才以上共通料金・観戦券別・税込み)

S1席(グランドスタンド中央) **4,000円** S2・A・E共通エリア席(グランドスタンド+第2コーナースタンド) **2,000円**

チケットのお求めは

- チケットぴあ 名古屋 052-320-9999 大阪 06-363-9999 東京 03-5237-9999
- チケットセゾン 名古屋 052-290-9999 大阪 06-232-9999 東京03-3250-9911
- CNプレイガイド 03-5802-9999 ■ローソンチケット・ダイエー(OMC店) 06-369-6633 ■ファミリーマート(電話予約チケットセゾン)
- am/pm MINI STOP 03-5802-9999 ■サークルケイ
- ミリオンチケットセンター(ミリオンカード会員専用) 名古屋 052-265-3390 大阪 06-203-6480 東京 03-3265-7190
- ★JAF ★ホンダウェルカムプラザ青山 ★旅行代理店(JTB、近畿日本ツーリスト、東急観光、日本旅行、名鉄観光) ★全国主要プレイガイド
- ★鈴鹿サーキット各営業所 ※★は観戦券のみのお取り扱いとなります。

通信販売も実施中 鈴鹿サーキットチケットセンター通信販売窓口 0593-70-4386 (受付5/21~6/14 10:00~16:00)



お問い合わせは
鈴鹿サーキットチケットセンター 0593-78-1111(代)



NK4SUZUKA

'98鈴鹿選手権シリーズ鈴鹿サンデーロードレース第5戦

**明日のスターを目指し
ここでウデを磨け!! NK4 SUZUKA
START 16:15 10周**

サーキットを走ってみたい。熱いバトルに加わってみたい。少しでもそんな気持ちがあれば、ライダーとしての素質は十分だ。あとは「レース」という世界の扉を叩くだけ。明日のスターを目指しながら、目一杯レースを楽しもう。それがこのNK4 SUZUKAだ。

日常生活のなかで忘れ去られてしまったコンマ1秒という時間の単位。そんな瞬間的時間に熱くなるレースという世界は、常識を超越しているところに存在しているのかもしれない。そして、だからこそこで得られた興奮と感動は、他では絶対に味わえないものだ。

マールボロGP、“スプライト”鈴鹿8耐、全日本と、数々の名勝負を生み出す鈴鹿サーキットを舞台に、レース・ビギナーに向けて大きく門戸を開いたのが、このNK4 SUZUKAだ。レースに出場してみたい。でも、敷居が高すぎる、などというのは過去の話。まずは、このNK4 SUZUKAでウデを磨いて、その次の

ステップを考えてみるのもいいだろう。

参加ライセンスは国内ライセンス所持者。参加ベースマシンは、カウルレス、鉄フレームの市販4ストローク400ccネイキッド。改造範囲はエンジン本体、フレームの基本的な部分を除いて自由度が大きくなっている。ビギナーにとっては、このマシンの改造の仕方が分からずにネックとなるかもしれない。しかし、このNK4 SUZUKAでは、各レースで上位6位までに入賞したマシンを、100万円で購入することができるという買い取り制度というのが導入されている。この買い取り制度は、改造費の高騰に困止めをかける意味もあるが、この制度を上手

く利用すれば、ビギナーにとっては、より簡単にレース出場マシンを手にすることができ、レース参戦が可能となったわけだ。

さて、このNK4 SUZUKAのビッグイベントといえば、真夏の祭典8耐の前週、ネイキッドフェスティバルで開催されるNK4耐。94年から始まったNK4耐は、今年で第5回大会となるが、この大舞台でのレースは、思い切りアツクなれること間違いなし。マシンの調達だって、買い取り制度を利用すれば、今から準備を始めても遅すぎるといったことはない。

さあ、NK4 SUZUKAで、ひと味違った夏の思い出を作りつつ、レースのウデを磨こうぜ!!

Sprite

1998

Suzuka 8 hours

8耐前哨戦としての 鈴鹿スーパーバイク200km

鈴鹿スーパーバイク200kmレース。レース途中で最低1回、給油等のピット作業が必要となってくるためにセミ耐久レースといわれ、来る鈴鹿8耐に向けての前哨戦ともいわれてきた。しかし近年の200kmレースは、その内容も大きく変化し始めているようだ。

スーパーバイク200kmレースが誕生したのは94年のこと。それ以前はTTF1マシンによる鈴鹿200kmレースとして開催され、さらにその前身は鈴鹿200マイルレースであった。この鈴鹿200マイルレースは、鈴鹿8耐の誕生と同じ78年に初開催されており、セミ耐久レースという位置づけで、200マイルレースはもちろん200kmレースも、直前に迫った鈴鹿8耐への最終調整の場として多くのエントリーを集めていた。

鈴鹿サーキットのコース全長は現在

は、鈴鹿8耐では最重要作業となるため、多くのチームが、金曜日のフリー走行な

どの合間を見計らって練習を繰り返している。もし手元にストップウォッチがあれば、じっくりとチェックして、各チームの鈴鹿8耐に向けての、ピットワークの仕上がり具合なども観察すると面白いだろう。また、給油に関しては、金曜日のフリー走行から本番さながらの作業が見られるはずだ。この作業は、200kmレースではもちろん、鈴鹿8耐にも直結する部分であり、勝敗にも大きく関与する。

給油という見地から、各チームの、マシンの燃費というのも200kmレースはもちろん、鈴鹿8耐を制するのに大きな要因となってくる。ロングディスタンスレースでは、トップスピードに照準を合わせ

5.86403km。200kmレースは、すなわちこの鈴鹿サーキットを35周することになる。時間に換算すると、昨年の勝者であるマールポロ・ヤマハの芳賀紀行は、ピット作業も含めて1時間16分50秒647で200kmを駆け抜けている。鈴鹿8耐の場合、これまでの各チームの戦法でいくと、ひとり1時間前後の走行が基準となっている。もちろん、この約1時間の走行後、ライダー交代、タイヤ交換、

ガスチャージ等が行われるわけだが、200kmレースでは、さらにそこから数周しなくてはならないため、連続走行という意味では、ライダーにとっては鈴鹿8耐よりも厳しいレースであるといえる。

一方、時代の移り変わりとともにタイヤの性能が飛躍的に進歩し、古くは前後タイヤの交換が当然のように行われ、続いてリア・タイヤのみの交換が主流となり、現在ではタイヤ交換をしてい

ると、勝てないという時代に突入している。しかし、このタイヤ交換という作業



たスプリント仕様とは異なり、ある程度ガスを絞って燃費を稼ぐ仕様になってくるのが通例だ。そして燃費計算がキッチリと出ていけば、余分なガスを背負わなくて済み、それはすなわちマシンの軽量化につながる。200kmレースでは、鈴鹿8耐に向けて、こうしたデータ収集の場としても活用されている。ちなみにこれまでは、インジェクション仕様のホンダRVF/RC45が、燃費では他を圧倒していたといわれているが、今年からスズキGSX-R750もインジェクション化されており、その動向が注目される所らだ。

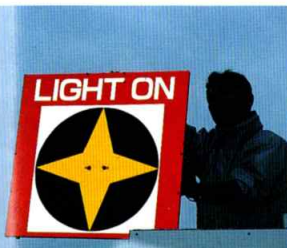
さて、鈴鹿8耐での最高周回数は、96年の勝

者であるヤマハのコーリン・エドワーズⅡ/芳賀紀行組が記録した218周。ライダーのリスク等を考えると、これが限界周回数とも考えられるが、今年のマールポログランプリ・ジャパンでは、500ccクラスのマジミリアーノ・ピアッツァが、2分5秒台という信じられないラップタイムをマークし、モータースポーツに限界がないことを改めて示している。

果たして今年の鈴鹿8耐では、誰がどのようなドラマを演じ、誰が主役の座に就き、そして優勝チームは何ラップを記録するのだろうか。今回の鈴鹿200kmを駆け抜けると、そこにはもうアツイ夏「スプライト」鈴鹿8時間耐久ロードレースが待ち受けている。

今年はこちらなる

鈴鹿8耐ワークス体制大予想



メーカーにとって鈴鹿8耐は、年間のレース活動の中で、取りこぼしが許されない最重要レースのひとつとなっている。だからこそ各ワークスは、毎年この鈴鹿8耐に、ネームバリューの高い「勝てる」ライダーを惜しみなく起用してきたのである。そしてこのワークス体制が強ければ強いほど、プライベーターたちも一発逆転の闘志に駆られてきたともいえる。さて、一部発表されているが、気になる今年のワークス体制を大予想してみた。

HONDA

実績重視。
ホンダ50周年に
華を添える。

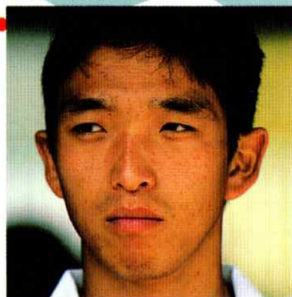


昨年の鈴鹿8耐の覇者、伊藤真一

昨年の覇者であるHondaは、今年の鈴鹿8耐には「3~4チームを予定している」(吉村総監督)とのこと。順当に考えれば、昨年の優勝コンビ伊藤真一/宇川徹、95年の優勝コンビのアロン・スライト/岡田忠之、そして既に発表されている、往年の名ライダーでありドライバーである高橋国光率いる武田雄一/加藤大治郎組。3チーム体制なら、おそらくこれで決定だろう。しかし、あと1チームが加わるなら、その筆頭はずいぶん昨年のワールドスーパーバイクのチャンピオンで、現ムービースターから世界GP、500ccクラスを戦うジョン・コシンスキーの参戦が濃厚だ。そしてそのペア・ライダーは、今年からワールドスーパーバイクでHondaに加わったコーリン・エドワーズⅡが最有力。このエドワーズⅡは、96年の鈴鹿8耐の覇者でもあり、こうなるとHondaは出場全8人中、5人までが鈴鹿8耐の美酒を体験していることになる。まさに実績重視の体制は、Honda50周年に華を添えるに相応しい布陣といえるだろう。

SUZUKI

世界グランプリ同様、
和製ブランドで挑む。



初のワークス体制で鈴鹿8耐を走る青木宣篤

さて、83年以来、鈴鹿8耐で勝利に見離されているスズキだが、「GPでも日本人ライダー体制ですからね」と、谷野全日本監督がほのめかすように、今年は青木宣篤/藤原克昭のGPコンビと、北川圭一/梁 明の全日本スーパーバイクコンビの2チームのエントリーが濃厚だ。世界GP、500ccクラスにおいて、過去に例のない日本人ライダーふたり体制を築いたスズキは、鈴鹿8耐でも純血を守り通すようだ。インジェクション化されたニューマシンは、既に全日本スーパーバイクで北川圭一と梁 明が表彰台に立っていることから、順調な仕上がりを見せているといえる。一方、青木宣篤はスズキのスーパーバイクマシンでのレースは初めてだが、どんなマシンでも短時間の内にその特性を見極め、乗りこなしてしまうという天性の才能が、ここでも大きな武器になるはずだ。気がかりなのは藤原克昭のケガの治り具合だが、万に備えて加賀山就臣が待機するなど、層の厚さも完璧だ。

YAMAHA

各カテゴリーで
絶好調。
キーマンは芳賀紀行。

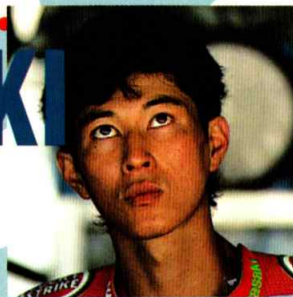


96年の鈴鹿8耐の覇者で、今年、キーマンとなる芳賀紀行

対するヤマハはどうなるのだろうか。ヤマハの場合、鈴鹿8耐の直前テストでペアリングを決定するというのが通例だが、ここで問題となるのが、今年のデイトナ200マイルレースで優勝して前人未踏の5勝目を挙げた、ワールドスーパーバイクを戦うファイター、スコット・ラッセルが唯一ミシュラン・タイヤを装着していること。タイヤメーカーによってその特性が異なるため、レースによっての履き替えは難しいとも言われており、依田全日本総監督も「タイヤメーカーの線から予想してみてください」ということから、妥当な線として、ダンロップ・タイヤを装着する全日本スーパーバイクの吉川和多留/芳賀健輔、ワールドスーパーバイクで大活躍を演じる芳賀紀行/サイモン・クラフター、さらに藤原儀彦がスコット・ラッセルと組むものと予想される。今年のヤマハは、国内外での好成績を挙げており、ライバルにとっては、例年以上に手強い存在になるはずだ。

KAWASAKI

ライダーの、
個性の違いを
層の厚さへと反映。



エースとしてカワサキを牽引する武石伸也

一方、93年以来の優勝を目指すカワサキは、「ワールドスーパーバイク組と全日本組とはタイヤメーカーが違いますから」と安井全日本監督が語っており、ヤマハと同様にタイヤメーカーの筋からその体制を割り出すことができる。全日本スーパーバイクチームはミシュラン・タイヤ、ワールドスーパーバイクチームはダンロップ・タイヤを装着していることから、武石伸也/芹沢太麻樹、柳川明/ニール・ホジソンのペアはほぼ確実と思われる。しかし、カワサキは3チームのエントリーを予定しているともいわれており、そうなれば全日本スーパーバイクの第1戦で表彰台に立った井筒仁康の名前が浮上する。この井筒仁康は、マシン開発がその役割であるが、過去、マシン開発を担当していた塚本昭一らがそうであったように、井筒仁康のエントリーは間違いのないだろう。そして、そうなった場合のパートナーは、ワールドスーパーバイクの誰か、ということになるようだ。

21世紀へ向けて、 新たな8耐伝説が始まる!!

8耐の楽しみ方は千差万別。
とにかく目一杯、
楽しんだ人の勝ち!!



7/17 (FRI) ~26 (SUN) “スプライト” 鈴鹿8時間耐久ロードレース

1978年、ヨシムラの劇的な勝利で幕を開けた鈴鹿8耐。その後、マシンやライダーなど、時代の流れとともに変貌を遂げてきたが、いつの時も「真夏の祭典」にふさわしい感動のドラマを産み続けてきた。そして昨年、鈴鹿8耐は20回大会を迎え、人間に例えると成人したことになる。しかし、20歳では人生を語るにはまだまだ早すぎる。21世紀へ向けて、お楽しみはこれからだ!!

ホンモノの感動は その場に居なければ味わえない!!

8耐の楽しみ方は、まさに千差万別だ。定点チェックで各ライダーの動きをジックリと観察するもよし、レースが膠着状態に入ったら、遊園地で遊ぶのもいいだろう。そしてスプライト片手に鈴鹿名物のたこ焼きなどを食べながら、観戦ポイントを移動して楽しむのもオツなもの。もちろん今年も、楽しさいっぱいのイベントも盛りだくさんだから、上手くスケジュールを立てて、それぞれの8耐を目一杯、楽しもう。ホンモノの感動は、その場に居なければ味わえないというのはレースの鉄則中の鉄則。とにかくこの8耐は、フリースタイルで、思い切り楽しんだ人の勝ちなんだ。



昨年、フルタイムの8時間レースとして初めて日本人ベアの優勝を達成した伊藤/宇川のホリプロ・ホンダwith HART。表彰式は、いつも感動的だ。

観る側も走る側も大興奮 鈴鹿だけの予選スペシャル・ステージ

鈴鹿8耐独自の予選システムとして定着、好評を博しているのがスペシャルステージ(S・S)だ。金曜日の計時予選後、上位30台が土曜日のS・Sに出場するわけだが、これは最終的なグリッドを決定するもの。

8耐開催日程

- 鈴鹿ネイキッドフェスティバル
- 7/17(金) SP4耐 公式予選
 - 18(土) SP4耐、NK4耐、ST2耐 公式予選
 - 19(日) NK4耐、ST2耐 決勝
- “スプライト” 鈴鹿8耐
- 7/23(木) 8耐フリー走行
 - 24(金) 8耐計時予選
 - 25(土) 8耐スペシャルステージ SP4耐 決勝
 - 26(日) 8耐決勝

まず、計時予選でタイムの遅いライダーがアタックステージといわれるS・Sに挑戦し、計時予選で速いタイムをマークしたライダーが、2回目のジャンプアップステージといわれるS・Sに挑戦する。このS・Sは、どちらも単独走行で行われるため、ライダーはサーキットを独り占めにできるばかりか、観客の注目を一身に集めるもので、ほとんどのライダーが「気持ちいい」とコメントを残すほど。もちろん観る側にとっても、中間タイムやトップとのタイム差がリアルタイムでサーキットビジョンに表示され、大興奮間違いなしだ。

いよいよS-NKが本格参戦 今年の8耐はひと味違う!!

鈴鹿サーキットで生まれたNK1とX-Formulaの総称であるS-NK。このS-NKがどんなマシンかと言えば、改造範囲の広い1000ccを超えるビッグ・モンスターだ。そしてこのS-NKが、いよいよ8耐にも本格参戦してくることになった。昨年は、ネイキッドフェスティバルで開催されたS-NK2耐の上位6台が、8耐への参戦を認められたが、今年は全日本スーパーバイク同様、エントリー自体が認められたのだ。しかし、このS-NKは、改造範囲は広いが独自の買い取り制度が設けられていて、各レースの決勝で6位までに入ると、希望者がいれば定められた金額で売却しなくてはならない。そのために、いくら改造が自由といっても歯止めがかかっているわけだ。ところで今年は、全日本スーパーバイクにホンダVTR1000FやスズキTL1000Rらの2気筒勢がエントリーし、元気のいいところを見せている。もちろんこうした2気筒1000ccスーパーバイクマシンも8耐に大学エントリー予定で、まさに新世紀、21世紀に向けて、マシンのビッグバンが本格化してきたと言えるだろう。



今年から全日本スーパーバイクに混走となったS-NKが、いよいよ本格的に8耐にエントリーする。

トップライダーへの登竜門!! SP4耐からヒーローが生まれる

宇川徹、柳川明、藤原克昭、青木治親などなど、現在世界で活躍する日本人ライダーの多くが、このSP4耐で好成績を残している。そう、SP4耐は、まさに未来のトップライダーへの登竜門とも言えるレースだ。

国内ライセンスのライダーによって争われるが、活きのいい白熱した戦いは、メインの8耐を勝っているとも言われており、ここで活躍したライダーが、国際ライセンスに昇格しても成績を残せるということはどうなづけられる。明日のスターを、キミのその目で探してみよう。



国内外で活躍するトップライダーの多くがSP4耐出身者であり、SP4耐はまさに登竜門レースと言える。

楽しむか、上を目指すか キミも出場できるNK4耐

レースという異次元の世界の素晴らしさを、より多くの人に味わってもらおうと、門戸を広げたのがNK4。そしてそのNK4のビッグイベントが、8耐の前週のネイキッドフェスティバルで開催されるNK4耐だ。マシンは4ストローク400ccネイキッド。入門レースとして定着したNK4だが、ここでウデを磨いて上を目指すか、手軽にレースの雰囲気を楽しむかは、キミ次第。



体験&ウデを磨くレース、それがNK4鈴鹿。そしてそのビッグイベントがNK4耐だ。

8耐P・P&Uイナー・チーム大予想 & 応援メッセージ大募集!!

毎年、様々なドラマと、ニューヒーローが誕生する8耐。しかし、なんとと言っても興味深いのが、8耐独自のスペシャル・ステージ(S・S)で決定するポールポジションと、最初にチェッカーを受ける優勝チーム。ということで、8耐の熱気を開催前から感じることができるのが、「8耐ポールポジション予想」と「8耐ウイナー予想」だ。果たして今年は、スペシャルステージでだれが最速の名を残し、決勝でどのチームが栄光を手にするのかを予想してほしい。応募は、官製はがきにあなたの「住所、氏名、電話番号、年齢、職業、レース観戦歴」、そしてあなたの予想する「8耐でのポールポジション獲得ライダー」、「優勝チームまたはライダー」と、予想したライダー・チームに対する「応援メッセージ」を書いて、下記宛にドシドシ応募ください。なお、応援メッセージは8耐当日、サーキットビジョンで放映する予定です。また8耐ポールポジション予想、8耐ウイナー予想に当選された方の中からそれぞれ抽選で1名様に、「来年の鈴鹿8耐VIPルーム観戦(ペア)を進呈」。そのほか、ご応募いただいた方全員の中から抽選で20名様に、「今年の鈴鹿8耐パドックパス(ペア)を進呈」いたします。応募の締め切りは「1998年7月9日(木)消印有効」。お問い合わせは下記まで。

〒451-0051 名古屋市西区則武新町4-4-19-5F
 アバンテック ジャパン,INC.内
 「8耐ポール&ウイナー」係
 TEL 052-565-0501 FAX 052-565-0502

今年もやります!! 8耐全出場ライダー出席の同窓会

思い返せばこの20年、本当にいろいろなドラマが鈴鹿サーキットを舞台に演じられてきた。もちろん、参加したライダーそれぞれが、各年のドラマの主役でもあった。そしてその20年間のドラマの主役たちを、今年の8耐にご招待。パドックは懐かしい顔がいっぱい。憧れのライダーに会えるチャンスだ。

今年も来るぞ!! 我らのウルトラマンファミリー

M78星雲から、今年もウルトラマンファミリーが鈴鹿サーキットにやってくる。園内各地に突如出没して怪獣退治。がんばれウルトラファミリー。鈴鹿サーキット、そして8耐の平和を守ってくれ!!



今年もまた、ウルトラファミリーが鈴鹿サーキットの平和を守りにやってくる。

もうひとつのオ・タ・ノ・シ・ミ 超パワフル「8耐前夜祭」

8耐を大きく盛り上げるのが、決勝前夜に行われ「8耐前夜祭」。とにかくこの前夜祭でテンションを

上げて、決勝で一気にブレイクというのが、正しい(?) 8耐の楽しみ方のひとつ。国際レーシングコースを使用しているバーベキューコーナーを始め、あの平忠彦氏を始めとする歴代8耐参戦ライダーによるトークショー、恒例のライブには8耐ソングの制作者であるBORO、8耐では自らのチームを結成する世界のサクスペイヤー-MALTA、そして8耐といえばこの人を抜きに語れない我が兄貴分の高原兄らが参加。そしてこの他にも、熱い戦いに華を添える「キャンペーンギャルオンステージ」や「ウルトラマンショー」など、楽しいイベントが目白押し。白熱した戦い、そして大興奮を前に、一時ここで気持ちを和らげておこう。



鈴鹿サーキットインもまってるよ!

歴代の8耐マシンが甦る!! 7月26日(日)にデモ走行

ライダー同様、主役として注目を集めてきたのが参加マシン。一時代を築いた往年の名マシンが、時代の流れを超えて再び甦る。腹の奥底にまで響きわたるそのエキゾーストノートを、思う存分、満喫してほしい。

お得な前売り観戦券・指定席券好評発売中!!

前売り観戦券(自由席入場券、7/23~26日有効、税込み)

大人 7,000円 高校生3,500円

(決勝日当日券:大人10,000円 高校生5,000円)

*小・中学生は遊園地入園料1日800円・3歳~未就学児は1日400円で自由席にて観戦できます。

指定席券(7/25・26日有効、3歳~大人共通料金、観戦券別、税込み)

- S1席(グランドスタンド中央)・・・10,000円
- S2席(グランドスタンド第1コーナー寄り)・・・8,000円
- A席(グランドスタンド最終コーナー寄り)・・・6,000円
- C席(シケインスタンド)・・・5,000円
- E席(第2コーナースタンド)・・・8,000円
- 共通エリア席(B1・B2・D・Fの各席入場可)・・・5,000円

*3歳以上~中学生の方が指定席でご観戦の場合は、指定席券と遊園地入園券が必要となります。

*共通エリア席は、席番の指定はありません。

*S1、S2、A、Eの各指定席券をお持ちの方は、共通エリア席でもご観戦いただけます。

パドックパス 40,000円

(観戦券別。鈴鹿サーキットチケットセンターのみの販売。税込み)

新設 トワイライトチケット 大人4,000円(税込み)

高校生2,000円(税込み)

*決勝日17:00より入場いただけます。共通エリア席付。
 (決勝日当日、鈴鹿サーキット窓口のみの販売。前売りはございません。)

★鈴鹿ネイキッドフェスティバルは、遊園地入園料でご観戦いただけます。

*3才~未就学児400円、小・中学生800円、高校生以上1,600円(税込み)

チケットについてのお問い合わせは、鈴鹿サーキットチケットセンター ☎0593-78-1111(代)

チケットのご購入方法は2通り

ご購入方法①電話またはFAXで申し込む通信販売

*チケットは申し込み後、2~3日で宅急便でお届けいたします(別途、送料が必要です)。

■発売期間:7月19日(日)まで

■お申し込みは

電話:0593-70-4386 受付時間:10:00~16:00

FAX:0593-70-4382 受付時間:24時間

●FAXでお申し込みの方は、専用申し込み用紙をご利用ください。

専用申込用紙は鈴鹿サーキットランドファクシミリサービス 052-201-3737

ボックスNo.3045#で取り出せます。

■お支払い方法(AかBをお選びください)

A クレジットカードでのお支払い (チケット代金と送料600円)

B 代金引き換えコレクト便 (チケット代金と送料1,000円)

(ご利用いただけるカード)

リオンカード/VISA/Master Card/JCB/AMERICAN EXPRESS/Diners Club International

*S1指定席はFAXでのお申し込みはできません。

*お申し込み後のキャンセル、変更はお受けできません。

*先着順販売のためご希望のチケットをご購入いただけません場合があります。この場合FAX

でのお申し込み方には、あらかじめご案内させていただきます。

ご購入方法②オンラインチケットなどでの窓口販売

■発売期間:7月25日(土)まで

●主要二輪車販売店

●チケットぴあ 名古屋 052-320-9999 大阪 06-363-9999 東京 03-5237-9999

●チケットセゾン 名古屋 052-290-9999 大阪 06-232-9999 東京 03-3250-9911

●CNプレイガイド 03-5802-9999 ●ローソンチケット・ダイエー(OMC店) 06-369-6633

●ファミリーマート(電話予約はチケットセゾン) ●サークルケイ

●am/pm、MINI STOP 03-5802-9999 ●ミリオンチケットセンター(ミリオンカード会員専用)

名古屋 052-265-3390 大阪 06-203-6480 東京 03-3265-7190 ●JR東海旅行センター

●鈴鹿サーキットチケットセンター

★ホンダウエルカムプラザ青山 ★MFJ ★全国主要プレイガイド

★全国主要旅行代理店(JTB、近畿日本ツーリスト、東急観光、日本旅行、名鉄観光)

★鈴鹿サーキット各営業所(名古屋、大阪、三重、東京)

★*印は観戦券のみのお取り扱いとなります。

*指定席及びシリーズセット券は販売店により一部お取り扱いのない場合があります。

8耐 会村

◎芳賀健輔(YAMAHA)
8耐で勝つためのスーパードライダースーツを着たから、勝たないです。去年は、雨で転倒、悔しかった。今年は、250のライダーとして走った去年と違って、走るわけだから、負けられない。

◎北三州(SUNCKY)
雨は、ただ、涼しい。去年は、雨で転倒、悔しかった。今年は、250のライダーとして走った去年と違って、走るわけだから、負けられない。

◎山口健輔(SUNCKY)
雨は、ただ、涼しい。去年は、雨で転倒、悔しかった。今年は、250のライダーとして走った去年と違って、走るわけだから、負けられない。

◎YOSHIMOTO (YOSHIMOTO)
雨は、ただ、涼しい。去年は、雨で転倒、悔しかった。今年は、250のライダーとして走った去年と違って、走るわけだから、負けられない。

◎ANDRA (ANDRA)
雨は、ただ、涼しい。去年は、雨で転倒、悔しかった。今年は、250のライダーとして走った去年と違って、走るわけだから、負けられない。

◎藤原克昭(SUNCKY)
雨は、ただ、涼しい。去年は、雨で転倒、悔しかった。今年は、250のライダーとして走った去年と違って、走るわけだから、負けられない。

◎対面中(KAMASAKI)
雨は、ただ、涼しい。去年は、雨で転倒、悔しかった。今年は、250のライダーとして走った去年と違って、走るわけだから、負けられない。

◎細川... (細川...)
雨は、ただ、涼しい。去年は、雨で転倒、悔しかった。今年は、250のライダーとして走った去年と違って、走るわけだから、負けられない。



グランプリ



真面目で一生懸命で、自分が決めた事は最後までやり通すことを心がけています。レースにスタッフとして参加できることを、今から楽しみにしています。クイーンの名に恥じないようがんばります。



重久裕貴

“まさか私が”と驚きでいっぱいです。とても引っ込み思案な性格でしたが、2年間の海外生活でとてもフレンドリーになれた経験を活かしたいです。素直さと笑顔でクイーンの実任を全うします。

今、演歌にハマっています。ひとりでカラオケに行き練習することもあります。すごく明るい性格で、他人の気持ちを思いやることができますと思っています。一年間笑顔でがんばります。

準グランプリ

夢のひとつ、クイーンになれたことを、誇りを持ってがんばります。明るく元気で、陽気な私です。常に笑顔で皆さまに接したいと思っています。見かけた時は手を振ってください。笑顔をお返しします。



寺地直子



酒井美代子

車もバイクも大好きで、レースを観るのも好きですが、本当は自分で運転するのも大好きです。マイペースでおっとりしていると言われるかもしれませんが、一年間クイーンとして一生懸命がんばります。



癸生川優理子

私たち'98鈴鹿サーキットクイーンです
明るく元気にがんばります。
応援よろしくね!!



大前ちづる



'98鈴鹿サーキットクイーン
決定!!



片岡加奈子

私のチャームポイントは大きな瞳。明るさと笑顔には自信があります。少しおっちょこちよいですが明るさでカバーします。もっと自分を磨き、素敵な女性になりたいです。今の気持ちを忘れずがんばります。



田中真純

私のチャームポイントはバレーボールで作上げたスタイルです。それに、いつも新鮮な気持ちでいるように心がけています。ちょっぴりおっちょこちよいなところもありますが、よろしくをお願いします。



高瀬絵里

私は人と接することが好きなので、初対面の人とも気軽に話ができます。それに、立ち直りの早い性格も気に入っています。他のクイーンの方と協力し、楽しく元気にお仕事をして行きたいと思います。



中野舞子

とにかく明るいこと、それが私の最大の特徴です。常に楽しく元気でありたいと思っています。これから前向きにいろいろな事にチャレンジして行きます。どうぞよろしくをお願いします。

'98 Suzuka Circuit Queen

FUJI TELEVISION JAPANESE GRAND PRIX SUZUKA

6月14日よりオンラインプレイガイド他で発売開始!



'98 FIA F1 世界選手権シリーズ第16戦
フジテレビ日本グランプリ

1998 10 / 30 フリー走行
10 / 31 公式予選
11 / 1 決勝

前売り券料金 自由席券は昨年比60%~43%引きの大幅プライスダウン! さらに観戦エリアも大幅に拡大!!

■自由席券 (10/30・31・11/1有効、税込み) **ご注意** 自由席券ご購入後、指定席券への変更はできません。

大人 9,000円 高校生 4,500円 小・中学生 2,000円

※3才未満就学児は、当日遊園地入園料(1日 400円)で自由席に入場いただけます。

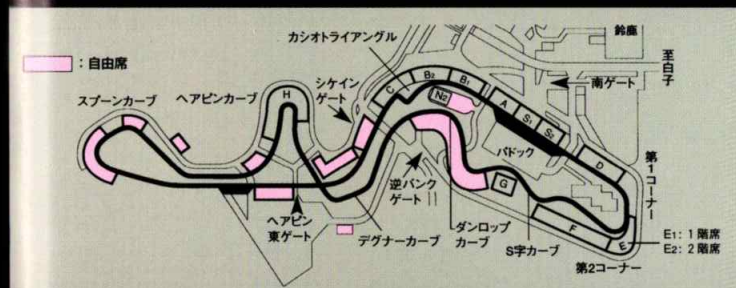
■指定席券 (入場料込み、10/30・31・11/1有効、税込み)

		大人	高校生	小・中学生
S1席	グランドスタンド中央	60,000	48,000	42,000
S2席	グランドスタンド第1コーナー寄り	48,000	39,000	34,000
A席	グランドスタンド最終コーナー寄り	41,000	33,000	29,000
B1席	最終コーナースタンド	31,000	25,000	22,000
B2席	最終コーナースタンドシケイン寄り	31,000	25,000	22,000
C席	シケインスタンド	36,000	29,000	26,000
D席	第1コーナースタンド	41,000	33,000	29,000
E1席	第2コーナースタンド 1階席	34,000	28,000	24,000
E2席	第2コーナースタンド 2階席	48,000	39,000	34,000
F席	第2コーナースタンド S字寄り	34,000	28,000	24,000
G席	S字コーナースタンド	31,000	25,000	22,000
H席	ヘアピンスタンド	31,000	25,000	22,000
N2席	N山スタンド シケイン向き	25,000	20,000	18,000

*S1席はオリジナル記念品付です。

※3才以上~未就学児のお子様は指定席に入場する際は、小・中学生料金の指定席券が必要となります。

観戦エリアのご案内



チケットのお求めは

- チケットぴあ 名古屋 052-320-9999 大阪 06-363-9999 東京 03-5237-9999
- チケットセゾン 名古屋 052-290-9999 大阪 06-232-9999 東京 03-3250-9911
- C/Nプレイガイド 03-5802-9999
- ローソンチケット・ダイエー (OMC店) 06-369-6633
- サークルケイ ■JR東海旅行センター ■鈴鹿サーキットチケットセンター、各営業所

※販売店によっては一部取り扱いのない券種があります。くわしくは鈴鹿サーキットチケットセンターまでお問い合わせください。

6 / 15 (月) より通信販売も実施

鈴鹿サーキットチケットセンター通信販売専用ダイヤル
TEL 0593-70-4386 (受付 10:00 ~ 16:00)
FAX 0593-70-4382 (受付 24時間)

自由席券のみのお取り扱い窓口

- | | | |
|--|---|--|
| <p>■三重県</p> <p>津南郊ショッピングセンター 0120-117-380</p> <p>鈴鹿燃料 香良洲給油所 059-234-2234</p> <p>ジャスコ四日市店 0593-51-1111</p> <p>中部近鉄百貨店 0593-53-5151</p> <p>四日市一番街商店街振興組合 0593-54-5272</p> <p>ホンダ開発 鈴鹿事業部 0593-79-5408</p> <p>オートボックス鈴鹿 0593-82-9898</p> <p>NTT鈴鹿研修センター 0593-87-3156</p> <p>カーブテック・ライブ 0594-21-6711</p> <p>サンアクティ 0594-31-8311</p> <p>ジョバー上野店 0595-23-1133</p> <p>ホンダプリモミヤタ 0595-23-9532</p> <p>伊賀レジャー 0595-45-6811</p> <p>ホンダプリモ中野 0595-64-0081</p> <p>川本タイヤ 0596-25-0211</p> <p>オートボックス伊勢店 0596-36-4488</p> <p>立花通商 0596-37-6622</p> <p>J A 松阪 0598-28-2112</p> <p>ホンダベルノ伊勢 0598-29-5111</p> <p>オートボックス松阪店 0598-51-3868</p> <p>三重スーパーカー販売 0598-51-5111</p> | <p>■岐阜県</p> <p>タイヤショップ サカイ 0575-28-2543</p> <p>プリチストンタイヤ岐阜販売 058-240-5880</p> <p>井上タイヤ 058-241-1705</p> <p>新岐阜百貨店 プレイガイド 058-263-8848</p> <p>ヤナゲン 友の会 058-327-1111</p> <p>■大阪府</p> <p>モーターススポーツセンター 06-535-3388</p> <p>J A F 大阪支部 06-543-5800</p> <p>高島屋大阪店 プレイガイド 06-631-1101</p> <p>近畿大学生協 06-723-9771</p> <p>R S タイチ 0720-74-5315</p> <p>ランドマーク 0722-45-2401</p> <p>R S タイチ 松原店 0723-35-9977</p> <p>レーシング ワールド 0726-53-0298</p> <p>■兵庫県</p> <p>神戸職域文化連盟 078-332-2431</p> <p>J A F 兵庫支部 078-871-7530</p> <p>グランド・スラム宝塚 0797-81-9818</p> <p>■和歌山県</p> <p>南海部品 和歌山店 0734-31-5336</p> <p>和歌山ホンダ 0734-45-5000</p> <p>J A F 和歌山支部 0734-74-7667</p> <p>■京都府</p> <p>京都音楽文化協会 075-211-0261</p> <p>京都ホンダカー販売 075-431-2101</p> <p>J A F 京都支部 075-682-6000</p> <p>メイジュ 075-721-5535</p> <p>■奈良県</p> <p>ホンダ四輪販売奈良 大宮営業所 0742-34-3811</p> <p>J A F 奈良支部 0742-61-0006</p> <p>ホンダプリモブエンジニアリング 0743-53-5207</p> | <p>■滋賀県</p> <p>ホンダベルノオーミ 0749-42-4511</p> <p>大津市職員互助会 077-523-1234</p> <p>J A F 滋賀支部 077-544-3300</p> <p>アヤハディオ栗東店 077-552-2222</p> <p>■石川県</p> <p>プリチストンタイヤ北陸販売 076-238-4114</p> <p>ヨコハマタイヤ北陸販売 金沢営業所 076-298-8311</p> <p>■福井県</p> <p>ホンダプリモ中村 0770-22-2386</p> <p>コクビツアカオ 0770-56-0811</p> <p>プリチストンタイヤ北陸販売 0776-38-1803</p> <p>■静岡県</p> <p>ホンダ開発浜松事業部 053-436-4178</p> <p>ヤマハミュージック浜松 053-454-2770</p> <p>■神奈川県</p> <p>ジョイナスプレイガイド 045-319-2456</p> <p>■東京都</p> <p>赤木屋プレイガイド 03-3273-5481</p> <p>ホンダウエルカムプラザ青山 03-3423-4118</p> <p>■長野県</p> <p>サスナカ 0266-22-7161</p> <p>■中国・四国・九州</p> <p>ポプラ各店</p> <p>■全国</p> <p>JTB, 近畿日本ツーリスト, 日本旅行, 東急観光, 名鉄観光</p> |
|--|---|--|

チケットについてのお問い合わせは鈴鹿サーキットチケットセンター 0593-78-1111 (代)



SUZUKA CIRCUIT

INTERNATIONAL RACING COURSE COURSE GUIDE

鈴鹿サーキット・国際レーシングコース/データ

完成 : 1962年9月

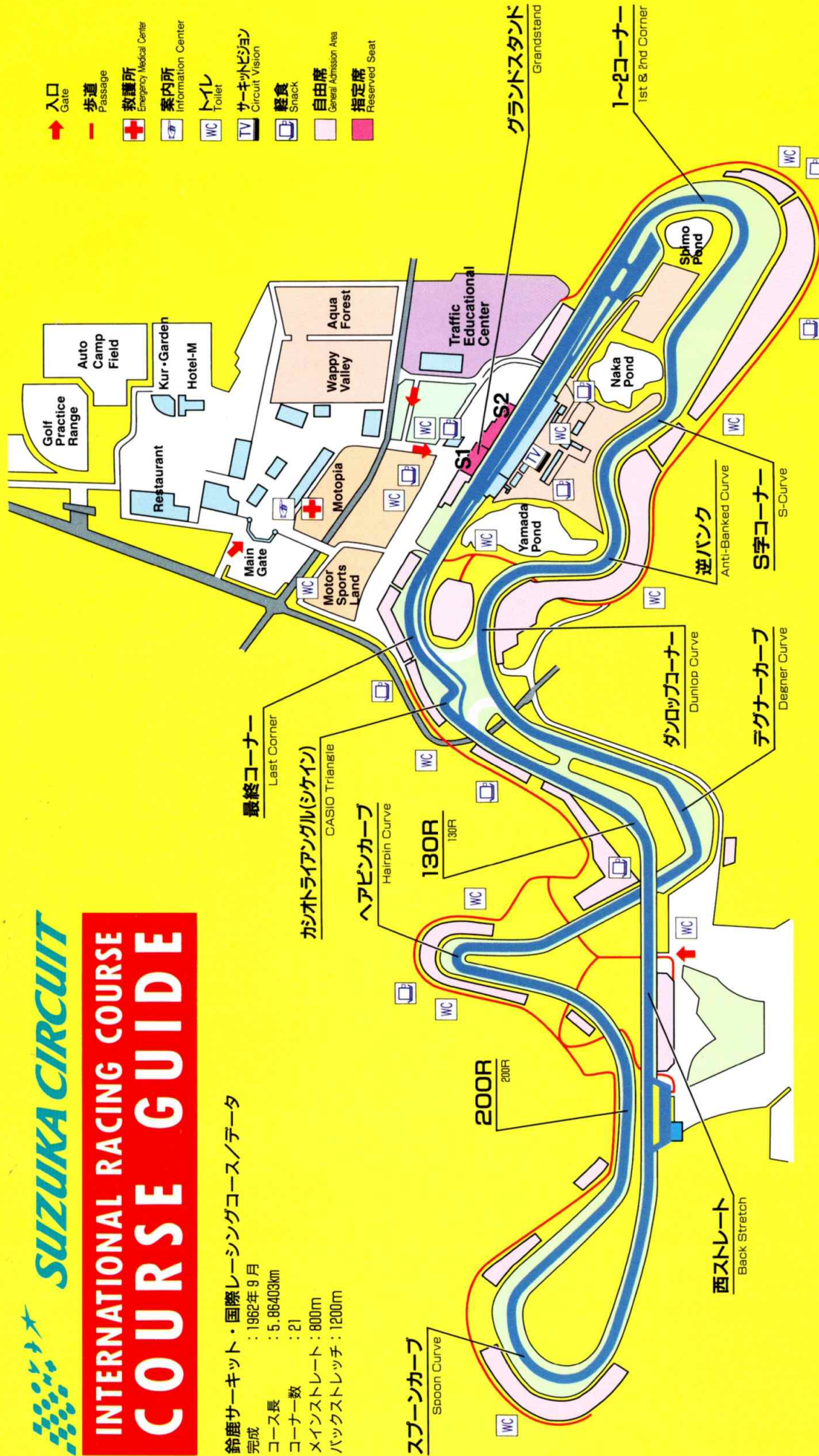
コース長 : 5.86403km

コーナー数 : 21

メインストレート : 800m

バックストレッチ : 1200m

- 入口 Gate
- 歩道 Passage
- 救護所 Emergency Medical Center
- 案内所 Information Center
- トイレ Toilet
- サーキットビジョン Circuit Vision
- 軽食 Snack
- 自由席 General Admission Area
- 指定席 Reserved Seat



鈴鹿サーキット

ラップタイム&平均速度

ラップタイム	平均速度
1' 48秒	198.155
1' 47"	197.294
1' 48"	195.467
1' 49"	193.674
1' 50"	191.913
1' 51"	190.184
1' 52"	188.486
1' 53"	186.818
1' 54"	185.179
1' 55"	183.569
1' 56"	181.987
2' 08"	180.431
2' 09"	178.902
2' 10"	177.399
2' 11"	175.920
2' 12"	174.467
2' 13"	173.036
2' 14"	171.630
2' 15"	170.246
2' 16"	168.884
2' 17"	167.543
2' 18"	166.224
2' 19"	164.925
2' 20"	163.647
2' 21"	162.388
2' 22"	161.148
2' 23"	159.928
2' 24"	158.725
2' 25"	157.541
2' 26"	156.374
2' 27"	155.224
2' 28"	154.091
2' 29"	152.974
2' 30"	151.874
2' 31"	150.789
2' 32"	149.719
2' 33"	148.665
2' 34"	147.625
2' 35"	146.600
2' 36"	145.589
2' 37"	144.592
2' 38"	143.610
2' 39"	142.638
2' 40"	141.681
2' 41"	140.736
2' 42"	139.804
2' 43"	138.884
2' 44"	137.977
2' 45"	137.081
2' 46"	136.196
2' 47"	135.323
2' 48"	134.461
2' 49"	133.610
2' 50"	132.774
2' 51"	131.940
2' 52"	131.121
2' 53"	130.311
2' 54"	129.512
2' 55"	128.722
2' 56"	127.942
2' 57"	127.171
2' 58"	126.410
2' 59"	125.657
2' 59"	124.914
2' 59"	124.179
2' 59"	123.453

コースレコード

CLASS	TIME	DRIVER	MACHINE	DATE	RACE
スーパーバイク	2'09"482	武石 伸也	KAWASAKI ZX-7RR	96. 9. 8	鈴鹿スーパーバイク2ヒートレース
スーパーNK(NK1)	2'15"604	宮崎 祥司	KAWASAKI GPZ1100	95. 9. 9	鈴鹿スーパーバイク2ヒートレース
スーパーNK(X-Formula)	2'15"479	大西 敬紀	YAMAHA YZF1000	97. 7. 25	*スプライトワークル*鈴鹿8時間耐久ロードレース
GP250	2'10"655	加藤 大治郎	HONDA NSR250R	95. 6. 10	鈴鹿スーパーバイク2ヒートレース
GP250	2'10"198	松戸 直樹	HONDA RS125R	96. 9. 10	鈴鹿スーパーバイク2ヒートレース
250cc(世界選手権)	2'09"284	栗 雅雄	YAMAHA	98. 4. 5	Marlboro Grand Prix of Japan
125cc(世界選手権)	2'16"128	栗 雅雄	HONDA	98. 4. 5	Marlboro Grand Prix of Japan

まるち
バイクマガジン

モトチャンプ

Monthly USED-BIKE
DATA MAGAZINE

Champ

チャンプ・ユー

楽しくなくっちゃ
レースじゃない!!



FROM MINI TO THE WORLD

まるち
バイクマガジン
モトチャンプ

毎月6日発売 300円(税込み)

Monthly USED-BIKE
DATA MAGAZINE
Champ
チャンプ・ユー

毎月14日発売 300円(税込み)

(株)三栄書房 〒169-8588 東京都新宿区北新宿4-8-16
TEL03-3364-3812 FAX03-3368-1733 (販売部)

書店にて品切れの節は送料を添えて(同額の切手代用可)左記の販売部宛に直接ご送付ください。

BRIDGESTONE

このグリップはサーキットから生まれた。

BATTLAX

BT-96

RACE TYPE

SPLレースで勝利を呼ぶ脅威のグリップ、デビュー。

新登場

FRONT

REAR



AN AMERICAN ORIGINAL.

© 1998 Brown & Williamson Tobacco Corporation



ソフトパック
タール11mg/ニコチン0.8mg

未成年者の喫煙は禁じられています
あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう